

炉辺談話総集編

No. 1

1999年－2000年

目 次

はしがき	3
親睦と例会出席の意義	4
ロータリーの危機	6
公衆便所設置運動	9
地区リーダーシップ・プラン	10
ジャングルの法則	13
ロータリアンは夢追人	15
都市連合会 IM	17
四つのテスト	18
ドナルド・カーター	20
職業分類制度	22
協議会（アッセンブリー）	24
量か質か	26
ロータリー・・・命名の由来	28
クラブ会長の役割	30
クラブ幹事の役割	32
ボーターレス社会	34
職業奉仕の考え方	36
世界社会奉仕は国際奉仕か	39
ロータリー道徳律制定の経過	41
奉仕こそわがつとめ	43
出席委員会の役割	49
親睦活動委員会の役割	51
ロータリー情報委員会の役割	53
クラブ会報委員会の役割	55
会員増強委員会の役割	57

会員選考委員会の役割	59
手続要覧とロータリー章典	60
ロータリーと e-メール	62
職業奉仕実践方法の再構築	65
委員会の名称	68
趣味・職業別親睦活動グループの結成	71
趣味・職業別親睦活動へのお誘い	75
WCS 活動の留意点	78
One Rotary Center を訪ねて	81
ロータリーとマフィア	85
IT 革命とロータリー	87
ニュー・モデル・クラブ	90
ロータリーの二つのモットー	95
レストラン協会道德律	97
ライオンズとは	99
ロータリーと JC	111
レジナルド・ハリス	114
五年間の愚行	118
炉辺談話の発祥	121

はしがき

ロータリーの世界に急激に押し寄せた IT 化の波に乗り遅れまいと、「ロータリーの源流」というホームページを開設したのは 1999 年の 5 月でした。「ロータリーの源流」にはロータリーの歴史、理念、組織管理、奉仕分野別の解説、文献資料等を掲載していますが、その中で皆さまの関心が最も高かったのは「炉辺談話」ではなかったかと思います。「炉辺談話」はホームページの開設以降、これをご覧になった方から寄せられたいろいろなご質問や、時機を得た情報の解説や、私の個人的なロータリー感をご披露したもので、毎週一話を原則にして執筆したコラム欄です。

このたび、特にインターネットを利用する環境が整っていないロータリアンの皆さまのことも考慮して、これを纏めて冊子にすることにいたしました。何しろ 7 年以上も続けたコラムであり、その内容もばらばらだったので、これを機会に旧聞に属するものや直接ロータリーに関連しない記事を割愛したり、重複する内容を統合したり、その後変更された項目を最新の情報に改定した上で、年代別に編集し直しました。

私の個人的なホームページという関係上、内容は私の個人的な見解や解釈に基づいているものが多いと思いますが、その点をご了承の上、ご活用いただければ幸甚です。

2007 年 4 月

親睦と例会出席の意義

ロータリーライフの中で最も大切にしなければならないことは例会出席です。

一人一業種で選ばれた事業と専門職種の代表が、毎週一回集まって、お互いの職業上の発想の交換をしながら、自らの職場や業界にとり入れなければならない、職業奉仕のノウハウを学ぶ学習の場が例会です。職業奉仕とは自らの職業に関連を持つ全ての人々に、profitsをshareしながら、事業を継続的に発展させていく方法ですから、例会がうまく機能していれば、会員に計り知れないメリットを与えることができるはずです。

例会で語られる事業上の発想の交換は、それを本音で語ろうとすれば、事業の最高機密や致命的な弱点にも触れる必要がでてくるでしょう。従ってクラブの会員は本音で付き合いができる固い友情で結ばれていることが前提となります。一人一業種を守り、同業者を排除しなければならない理由もここに 있습니다。

もし、自分の職場で、ロータリーの職業奉仕の理念に反する行為があれば、ただちにこれを改善しなければなりません。その権限のことを私たちは裁量権と呼んでいます。

どんなことでも相談でき、どんなことを相談しても、わが身の不利にはならないことが保証されるような、クラブの会員全てが固い友情で結ばれている状態のことを、ロータリーでは「親睦」と呼んでいるのです。親睦活動は、ゆるぎなき親睦を作り上げるための手段の一つに過ぎません。

あなたのクラブには真の親睦が存在していますか？

あなたのクラブの例会では、活発な事業上の発想の交換が行われていますか？

あなたのクラブの会員は、真の裁量権を持ちそれを行使していますか？

事業上の利益を犠牲にして参加した例会で、それを上回るメリットが得られていますか？

人道的援助活動や募金活動にばかりうつつをぬかして、一番大切な例会における奉仕理念の研鑽がおろそかになっているところに、ロータリーの魅力が薄れつつある原因があるのではないのでしょうか。

日本のロータリークラブの画一的な例会運営にも大きな原因があります。十分な時間をかけて、事業上の発想の交換をし、奉仕理念を研鑽し、親睦を深めようと思えば、1時間の例会時間では短すぎます。規約の上では、例会の曜日と開始時間と場所は定められていますが、例会時間にはふれていません。外国では1時間半、2時間の例会はさして珍しいものではありません。

例会の内容を充実したものにするために、1時間半か2時間の例会を試みるクラブはありませんか？

1999年6月30日

ロータリーの危機

最近、ロータリーの会員が世界的に減少する傾向がみられ、その原因がいろいろととり沙汰されています。経済不況や高い会費のせいにする人もいますが、空前の好景気に沸くアメリカにおいても同様の現象がみられることから、理由はそんなに単純なものではありません。

ロータリーに対する魅力がなくなった、ロータリーに入っているメリットがなくなったと感じる会員が、不況を表向きの理由にして、ロータリーを離れていくような気がしてなりません。そうはさせじと、メイクアップの期間を延長したり、出席規定を緩めたりして、これに迎合することで、今度は良質の会員を失っていくという悪循環を繰り返しているのではないのでしょうか。

ロータリーライフの中で最も大切にしなければならないことは例会出席であることを肝に銘じ、生涯学習の場としての例会を魅力あるものにしなければなりません。

1929年10月から始まった世界大恐慌が引き金になって、ロータリーの魅力が薄れたため、その後第二次世界大戦までの15年間にわたって、ロータリーをやめたり、ライオンズに移る会員が続出した時代がありました。今のロータリー離れの対策として、当時の状況を、古い文献の中から探ってみたいと思います。

1930年、ロータリーの奉仕哲学の提唱者であったフレデリック・シェルドンが、突如シカゴ・クラブを退会します。1929年のダラス国際大会で、彼のモットー *He profits most who service best* を廃止しようという決議 29-7 が提案され、この提案をアメリカのかなり多くのクラブが支持したことや、同大会で決議された [身体障害児童の救済事業] に関連して、ポール・ハリスが奉仕活動の実践を賛美するスピーチをしたことが原因だという人もいますが、真偽のほどは定かではありません。

奉仕理念の提唱者を失ったことによって、ロータリーの求心力は、いっきに弱まったことは否定できないでしょう。

1932年にロータリアンだったフーバー大統領(共和党)が破れて、民主党のルーズベルトと代わったために、民主党を支持していたライオンズの勢力が一気に盛んになるという出来事が起こります。

その影響をうけて、ララミー・クラブの副会長を務め、その後 RI 事務局に勤務していた、ポール・ハリスの弟レギナルド・ハリスが、1932年にロータリーからライオンズに鞍替えするという事件が起こります。

1927年から1932年までの間、レグはロータリー場で働きましたが、「勝ち馬に賭けること」を欲した彼は、ライオンズに移籍し、それ以来、私達と共にあるのです。

From 1927 to 1932, Reg worked in the field for Rotary. Then desiring to "bet on a winning horse" he switched to Lionism and has been with us ever since.

[Lions International 公式文書]

レギナルド・ハリスはライオンズ第4地区幹事になって、カリフォルニア州、ネバダ州のロータリーの会員を大量に、ライオンズに転向させたことなどが、分っています。

前述のシェルドンの退会、レギナルドの転向に加えて、この年度から起こったシカゴ・クラブ会員の大量の退会は、決して不況のせいだけではなく、共和党から民主党への政権交代、ニューディール政策による企業の国家管理などのいろいろな要素が複雑にからみあったものではないかと想像されますが、これを解くような資料は一切残されていません。なお、1932年12月のシカゴ・クラブの統計によれば、会員数670名のうち、半期60%の出席義務を満たさなかった会員は213名に上っており、クラブ管理そのものが乱れていたと言えましょう。

1930年の25周年記念大会以降、1945年の国連憲章制定までの15年

の間、ロータリーは理念提唱も目だった奉仕活動の実践も行わず、まさにその存在価値をロータリアンにも、世間にも示していないのです。

1999年7月6日

公衆便所設置運動

シカゴ・クラブが公衆便所を設置し、これがロータリーの最初の奉仕活動となったことはあまりにも有名な話です。

1907年、シカゴ・クラブ会長に就任したポール・ハリスは、たまたま出席した商工会の集まりで、ループ地区(シカゴ中心部)の通行人が公衆便所がないために不便な思いをしているという話を聞きこみ、これを奉仕活動を実践する絶好の機会だと捉えました。

シカゴ・クラブは、早速、グレート・ノーザン・ホテルに 25 の市民団体の代表を集め、連合公衆便所建設委員会を設立して、行政に働きかけますが、既に施設内にトイレを持っていることを強く主張する、シカゴ醸造組合と百貨店組合の激しい妨害を受けます。

当時のループ地区で顧客用にトイレを供用していたのは、百貨店かバー位しかなく、トイレを借りる必要に迫られた通行人は、女性は化粧品を買うことを口実に百貨店に入り、男性はビールを飲み、バーの扉をくぐったついでに、トイレを借りなければなりません。もし、無料のトイレができれば、これらの店の収入に影響を与えることは、誰の目にも明らかでした。交渉は長引き、土地を掘り起こすまでに 2 年の歳月が掛かってしまいましたが、最終的には、建設用地と 20,000 ドルの補助金を市当局から受け取ることに成功して、1909年に市役所と公立図書館の横に二つの公衆便所が出来あがったのです。

ロータリーが最初に行った社会奉仕活動は、単に金銭を抛出した団体奉仕活動ではなかったことに注目しなければなりません。

1999年7月13日

地区リーダーシップ・プラン

地区リーダーシップ・プランDLPの採用を巡って、いろいろな問題点が指摘されています。

この制度はクラブの増加によって毎年のように地区が分割され、それに伴ってR Iの経費が増えていくのを抑えるために、地区分割の下限を従来の 80 クラブから 100 クラブに引き上げるためと、テリトリーが広範でカバナー一人では管理しにくい地区や、一地区が複数の国や言語が異なる部族で構成されているような場合に、ガバナー補佐を置いて、ガバナーの任務の一部を委任させようという制度です。

ガバナー補佐に委任する職務の内容は、1.クラブ管理と委員会管理
2.公式訪問のクラブ・アッセンブリーであり、公式訪問の会長幹事会は従来通りとしながらも、公式訪問の例会は合同例会を認めるとしています。

1992 年から 5 年間、12 地区(アメリカ 7 地区、スペイン、フィリピン、カリブ海地区、カナダ、オーストラリア各 1 地区)でパイロット・プログラムとして実施され、効果があがったという理由で、1996 年にこの制度の採用の是非について、当時のガバナーに打診がありました。

日本の各地区からの回答は、ガバナーの権限をガバナー補佐に委任するためには規定審議会の議を経てR I細則を変更する必要があるし、日本にはR Iが例示したような地区は存在しないので採用の必要はないという意見が大勢を占めたので、当時のジアイR I会長は、「日本では5-6 年かけて準備し、その必要を感じた地区から順次採用すればよい」という、公式発言をしました。

ところが、R I 理事会は規定審議会に諮ることなく、1997 年よりDLPを採用することを決定して、その採用は地区の自由であるとしながらも、これを採用しない地区は、将来クラブ数が増えても地区分割を認めないという通達を出し、ついに 1998 年の手続要覧には、本来採用が任

意であるはずのDLPの説明だけが記載されて、従来の地区管理や分区代理に関する記載が一掃されてしまったとというのがその経緯のあらましです。

R Iによれば、①ガバナー補佐の中から、将来のガバナー候補者を養成できる ②ガバナーが雑務から解放されて本来の地区管理に専念できる ③1地区で100クラブ位までが管理できるので地区分割が減少し経費節減になると説明しています。

これに反対する意見は、①R I定款細則上、地区唯一の役員と定められているガバナーの役割を、規定審議会の議を経て規約改正することなしに、役員でないガバナー補佐に委任することはできない ②公式訪問のために合同例会を指示することは、クラブ自治権の侵害に当たる ③日本国内においては、ガバナー補佐を置かなければ管理できないような特殊事情のある地区は存在しない ④クラブ・アッセンブリーでガバナー自らが多くの会員と対話を交わすことに、公式訪問の意義がある ⑤ガバナーの委任を受けてクラブ協議会に出席して、会員からの質問に回答する義務があるガバナー補佐に対して、誰がどのように教育するのか等々、多くの問題点が指摘されています。

従来の分区代理を名前だけガバナー補佐に変えて、公式訪問のクラブ・アッセンブリーに代理出席させることをDLPだと考えているガバナーがいたとしたら、単にガバナーが楽をするためだけの制度悪用だと言われても仕方ありません。従来から行われているクラブのローテーションによる分区代理の推薦を止めて、ガバナー自らが、将来の地区リーダーとしてふさわしい至近の会長経験者を、分区毎にガバナー補佐として任命し、研修リーダーと共に強化合宿による研修会を何回か開いて、徹底的にロータリーの教育をすることで、始めてDLP採用する基本条件が満たされるといえるのではないのでしょうか。

将来の指導者を育てるのは良いことですが、そこまでしてガバナー補佐をおこななければ管理が出来ないような、特殊事情がある地区が日本に

存在するとは思われません。従来通り、カバナー自らが、会長幹事会と例会とクラブ協議会に出席するところに、公式訪問の意義があると思うのですが、皆さまは、どう思われますか。

なお、この制度は地区管理を根本的に変える制度であるため、採用に当たっては、先ずパストガバナーの同意を得た上で、地区内クラブの承認を得てから、RI 事務総長に届け出なければならないことになっています。

1999年7月17日

ジャングルの法則

「狼は群の力であり、群は狼の力である。」これは、ルドヤード・キップリングが、短編集「ジャングル・ブック」の中の「ジャングルの法則」で述べている言葉です。キップリングは1865年生まれで、1907年にノーベル文学賞を受賞した、イギリスの愛国詩人とされる人です。ポール・ハリスと同年代に活躍した人ですから、あるいはロータリアンであったかも知れません。

この言葉を最初に引用してロータリーを語ったのは、1917年のR I 会長レスリー・ピジョンが会長エレクト時代ですが、後年、ハロルド・トーマスも、この言葉が特に気に入ったと見えて、彼の著書「ロータリー・モザイク」の中で再三引用しています。

ハロルド・トーマスは、1959年にR I 会長を務めたニュージーランド出身のロータリアンで、「ロータリー・モザイク」という名著を残しています。モザイクは形も色も大きさも異なったタイル片を組み合わせて作ります。ロータリーも人種や言語や宗教やそして考え方さえ違った人が集まって作り上げるモザイクのようなものと言うことで、この題名をつけたといわれており、1905年から1970年代までのロータリーの思想の移り変わりを詳しく解説した本です。その本ので、キップリングの「ジャングルの法則」が度々、引用されています。

「狼は群の力であり、群は狼の力である」

この言葉は一体何を意味するのでしょうか。一匹、一匹が強靱な体力と優れた頭脳を持っている狼は、群を作って行動します。群には必ずリーダーがいて全体を統率します。

リーダーが優れたリーダーシップを発揮し、他の狼がチームワークを組んで一糸乱れぬ行動をするとき、その力は計り知れないものに変化します。羊は例え1000匹集まったとしても何の力も発揮出来ません。群から離れた一匹狼も、荒野をたださまようのみで、やがては野垂れ死に

する運命が待っているのです。

この例えは *I serve* とか *We serve* とかの次元の話ではなく、ロータリアン個人個人は皆素晴らしい能力を持っていることを前提として、それに強力なリーダーシップと、揺るぎなきチームワークが加わったらどうなるかを説いているのです。

魅力あるクラブには、必ずといっていいほど、優れたリーダーシップを持った会長がおり、全会員のすばらしいチームワークによって、クラブの運営がなされていくのです。

1999年7月24日

ロータリアンは夢追人

1973年にアメリカのニュージャージーで生まれたステファン・クレンという詩人がいます。娼婦を詠った退廃的な詩が多く、アメリカよりもむしろイギリスでその才能をもちはやされた詩人ですが、彼の作品の中に、**I saw a man** という詩があります。

地平線を追いかけて
何処までも走りつづける男に出会った。
これを見て心配になり、
彼に声をかけた。
「それは無駄なこと」
「それは不可能なこと」、私は言った。
「そんなことはない」、彼は叫んだ。
そしてまた、走り続けた。

1933年に、シカゴ大学社会科学調査委員会は、当時、会員減少や規範のゆるみからクラブ運営の危機を感じていたシカゴ・クラブの委託を受けて、「**ROTARY?**」という調査報告書をまとめました。

調査委員会は「**ROTARY?**」の巻頭にこの詩を引用しています。ロータリアンが夢を追いつづけて活動をしている様子を、不可能なことに挑戦する無謀な集団と批判したのだったのかも知れませんが、敢えて、不可能に挑戦するロータリアンに賛辞を贈ったのかも知れません。

私たちが描いている夢は、実現不可能な夢なのでしょうか。私は決してそうは思いません。ロータリアンは夢追人（ドリームチェイサー）の集団であり、クラブは夢を追う人に更に大きな夢を与えるホーム・グラウンドです。

戦争のない恒久の平和を夢見て、世界中の国が理解を深めるために努力するロータリアン。貧困や飢餓や疾病をなくすことを夢見て、人道的

活動に奔走するロータリアン。次世代を担う子供たちにとって素晴らしい未来を残すことを夢見るロータリアン。

それぞれ夢見る内容は異なっても、利他の心からでたボランティアに基づく善意の発想であることには間違いありません。そしてその夢を実現させる原動力は、親睦を前提としたクラブ・ライフから生まれ、その資金は、職業奉仕の実践によって、すべての事業の職業倫理を高めながら自分の事業を発展させていくことで得られるとするならば、まさに、ロータリアン冥利に尽きる話ではないでしょうか。

夢が必ず実現することを信じて、ロータリー運動における、理念と実践の双方を大切に守りながら、生涯学習の場としてロータリー・ライフを楽しんでいきたいものです。

1999年7月31日

都市連合会 I M (Intercity Meeting)

以前は I G F Intercity General Forum と呼ばれていた地区行事でしたが、経済的理由によって、1969年のR I 理事会決議でR I の正式行事から除外され、それ以降、実施するか否かはガバナーの裁量に委ねられることになりました。

それ以降、日本のほとんどの地区では、ガバナーの依頼によって分区代理が主催する分区行事として続けられていますが、世界的にはこれを機会に中止する地区が続出しました。

その後 I M Intercity Meeting と呼称変更され現在に至っています。

分区内の近隣クラブが共通のテーマで語り合い、知己の輪を広げる意義は大きく、殆どの I M はフォーラムと懇親会がセットになっている形式がとられていますが、必ずそうでなければならないといったものでもなく、常軌を逸した会合にならないように、パスト・ガバナーにゼネラル・リーダーを依頼していると考えられます。

1998年の手続要覧では、分区代理の文字が一掃されたことを受けて、I M に関する記載も抹消されてしまいましたが、もともとR I の正式行事ではないものが、今まで手続要覧に記載されていたことの方がおかしいわけですから、I M を開催するか否か、誰が主催するかについては、従来通り、全てガバナーの自由裁量件の下にあると解釈すべきでしょう。

D L P を採用してガバナー補佐を置いている地区は、ガバナー補佐に委任してもよいし、D L P を採用していない地区では、従来通り分区代理が主催してもよいし、あまり褒められたことはありませんが、I M をやめることもガバナーの自由ということになります。

なお、I M にはこれ以外にも Informal Meeting の意味で使われることもあり、かつてポール・ハリスが名誉会長としてイギリスを訪れた際、地本のクラブが開催した歓迎会のことを I M と表現しています。

1999年8月7日

四つのテスト

包装済食品戸別訪問販売の職業分類でシカゴ・クラブの会員であったハーバート・テラーは、1931年に、世界大恐慌のあおりを受けて、莫大な借金のために倒産の危機に瀕していたクラブ・アルミニウム社の経営を引き受けることになりました。

もしも、会社の再建に失敗すれば、250人の従業員が仕事を失うことになります。彼はこの状況から脱出して、会社を再建するためには、道徳的、倫理的な指標がどうしても必要だと考えました。従業員が正しい考え方を持って正しい行動をすれば、会社全体の信用が高まるに違いありません。社員全体が簡単に憶えられて、自分を取り巻く全ての人たちに対して、考えたり、言ったり、行動したりするときに応用できる、道徳的な指標が必要であることに気付いたのです。社長室の机の前で頭をかかえながら、思い浮かんだ24語の言葉を書き留めたのが四つのテストです。

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

ハーバート・テラーが四つのテストを考え出した、まさしくその当日に、早速それを使う機会が訪れました。「世界で最高の調理器具」というキャッチ・フレーズが書かれた印刷物の校正刷りが、彼の机に届いたのです。

「世界で最高だということを証明することはできないし、それは間違いかもしれません。」彼は広告担当のマネジャーを呼んで、最高という言葉の削除し、それ以来「最もよい」とか「最も見事な」のような単語を使うことをやめて、単に製品についての事実を述べることにしました。

それから、それぞれ宗派の違う四人の責任者を呼んで、四つのテスト

が、信仰の教義に反しないことを確かめた上で、このテストを暗記し、職場で適用することを全従業員に了解させました。従業員たちは印刷された文章を手にして、それを勉強し、従業員全体の単純で、効果的で、興味をそそる信条にしたのです。

その後まもなく、取引先の印刷所が見積もりを間違えるという事件が起きました。印刷所は、品物を届けてしまった後に、500ドル安く見積りしたことに気づいて、半ばあきらめながらも、その事実を会社に告げたのです。法的にも社会通念上からも、その訴えを退けることは可能でしたが、四つのテストの「みんなに公平か？」に抵触するという意見に従って、500ドルを上乗せして支払うことにしました。

高い道徳的水準に基づいた真摯な会社経営は、消費者の信用につながって、クラブ・アルミニウム社は売上を伸ばし、5年後にはその借金は利子と共に完済し、15年後には株主に多額の配当をするまでに業績を伸ばしたのです。ハーバート・テラーは1939-40年にクラブの会長、1954-55年に国際ロータリーの会長を務め、その際この四つのテストの版權をR Iに寄付し、今日に至っています。

1999年8月21日

ドナルド・カーター

鑄鉄所を経営していたフレデリック・トゥイード Frederick H. Tweed が、新しくできたシカゴ・ロータリークラブに入会したのは 1905 年 12 月のことでした。彼は次々と新しい発明をして、その特許申請を、マルケット・ビルで事務所を開いていた特許弁理士、ドナルド・カーター Donald M. Carter に依頼していました。

1906 年 4 月、たまたま、シカゴ・クラブに特許弁理士がいないことに気づいたトゥイードは、彼に入会の意思があるかどうかを確かめました。

その話を聞いたカーターは、非常に喜ぶと共に興味を示して、ロータリー・クラブの目的は何かと尋ねました。

トゥイードはポケットに手を入れて、まだインキが充分乾ききっていない、新しい定款のコピーを取り出して、「会員の事業の拡大と親睦の増進」と書かれている条文を声を出して読み上げました。

それを聞いたカーターは、「何と都合のいい定款なんだ」と一笑に付き、「私は、そんなクラブには入る意思はありません」と答えました。しばらく考えてから、彼は更に言葉を続けました。

「会員以外の人々に、何か利益になるようなことをするならば、そのクラブは大きな将来性を持つはずです。だから、ロータリークラブも、何らかの市民に対する奉仕をすべきだと思います。」

その言葉を聞いたフレッドは、まさにその通りだと思って、カーターの考え方を実現させるために、ぜひクラブに入って一緒に行動するように誘いました。その熱意に打たれたカーターは、1 か月後に入会し、二人はポール・ハリスを説得して、1906 年 12 月に、新しい定款第 3 条として「シカゴ市の最大の利益を図り、市民としての忠誠心を培う」という一節が付け加えられました。

この第 3 条を実践に移した最初の社会奉仕活動が、シカゴのループ地区の公衆便所設置運動です。

トゥイードとカーターは、後日、連名の共同声明の中で、その本意を次のように述べています。

「まったく利己的な組織には永続性がありません。もしも我々がロータリークラブとして生き残り、発展することを望むならば、我々の存在を正当化するために何ごとかをしなければなりません。我々はある種の市民に対する奉仕をしなければならないのです。この定款の改正は、われわれが市民に対して奉仕をすることが可能になるように、シカゴ・ロータリークラブの綱領を拡大することを目的としたものです。」

会員同士の親睦と、物質的相互扶助を二本の柱として、エゴイズムに満ちた活動をしていた原始ロータリーは、新入会員ドナルド・カーターによって、始めて奉仕の理念の重要性に気付いたのです。

1999年9月4日

職業分類制度

ロータリーで定められた最初の約束ごとは、一人一業種で定例の会合を開くということでした。定例の会合が、始めは二週間に一回であって、しばらく経ってから週一回に変更されたことを考えれば、一人一業種制こそが、ロータリーの原点であったとすることができます。

一人一業種制が定められた本来の理由は、同業者を排除することによって真の親睦を保とうとしたためですが、現在では、少しでも多くの業界に、ロータリアンを大使として送り込んで、ロータリーの奉仕理念を広めるために、一業種に一人と限定していると考えられています。

一人一業種制の基本となるものが、職業分類表です。チャールス・ニュートンが残した資料（1910年頃の資料と思われる）によれば、当時の職業分類は、Attorney 弁護士、Banker 銀行家、Auditor 会計監査人、Patent Attorney 特許弁理士、Undertaker 葬儀屋のように、職業そのものの名前ではなく、その人の職業上の役割を示した分類になっていることが特徴的です。当時の興味ある職業分類として、Street Cleaner 道路清掃人とか、Cash Carriers Maintainer キャッシュ・キャリア管理者などをあげることができます。

1924年に、RIから標準職業分類概要と標準職業分類表がだされ、人間の生活に欠かすことができないものを大分類とし、それに付随するものを小分類に細分化すると共に、すべての職業分類は、その人自身ではなく、その人の職業を表すべきであるという見解に統一されました。

すなわち、Baker パン屋さんではなく、Baking パン製造、銀行頭取ではなく銀行業というように定められました。しかし、1954年の標準職業分類表を見ると、専門職種については、Surgeon 外科医、Dentist 歯科医となっており、Surgery 外科、Dentistry 歯科ではないので、この定義も相当混乱していたものと思われます。

なお、この標準職業分類表に収録されていない職業は、ガバナーに届

け出て、ガバナーが RI 本部の承認を得て、始めて使うことができるとされており、この標準職業分類そのものが、アメリカを標準として作られたものであったため、イタリアのベネチアングラス製造とか、日本の日本刀研磨などの職業分類がなかなか承認されずに困ったという逸話が残っています。

ところが RI は、1963 年に職業分類概要を発行して以来、標準職業分類表の発行を含めた一切の作業を中止し、現在に至っています。毎年のように起こる新しい職業分類の追加や更新が、RI の事務処理能力を超えたためとも言われますが、一人一業種制の根幹とも言える職業分類の管理を放棄した RI の責任は大きいと言わざるを得ません。

従ってそれ以降は、各クラブが独自に職業分類表を作らざるを得なくなると同時に、あらかじめ作成した職業分類表に従って、会員増強を図るのではなく、入会した会員に当てはまる職業分類表を後から作るという、本末転倒ともいえる状態が続いています。

なおこの時点から、従来の大分類、小分類の区分はなくなり、職業分類の分類方や名称を含めたすべてのことが、クラブの自由裁量に任されることになりました。現在、手続要覧に記載されている職業分類に関する項目は、すべて、1963 年以前の取り決めであり、たまたま抹消されずに残っていると解釈すべきでしょう。

RI は職業分類の管理を放棄してクラブにその責任を転嫁した手前、クラブがどんな管理をしようとする文句がいえず、クラブはクラブで、会員増強という大義名分のために、職業分類の枠を勝手に拡大解釈をするという悪循環に陥っているのではないのでしょうか。同じ業務をしている銀行を、工業銀行、商業銀行、外為銀行としたり、民事弁護士、刑事弁護士、国際弁護士に分けて、職業分類を細分化したりして、一人一業種制度を実質的に崩していく風潮に、ロータリーの行く末に不安を感じる人も多いと思います。

1999 年 9 月 25 日

協議会(アッセンブリー)

ロータリーにおける協議会(アッセンブリー)は、国際協議会、地区協議会、クラブ協議会に大別されます。

国際協議会は、毎年 2 月 15 日から 3 月末日までの間に、ガバナー・エレクトを対象として開催される協議会です。RI のテーマや RI の新しいプログラムが発表され、ガバナー・エレクトに対するロータリー教育と管理上の任務に対する指導や、クラブや地区の指導者に提供するための基本的な情報が提供されます。なお、国際協議会に全期間出席しなければ、ガバナーに就任することは出来ません。

地区協議会は、ガバナー・エレクトが国際協議会で得た情報を、次期クラブ会長、幹事および RI 理事会が指定したその他の次期クラブ指導者に伝えるために、開催されるもので、次のテーマを取り上げなければなりません。

○クラブ役員の管理責任 ○クラブの人材や資力の効果的活用 ○奉仕の機会と責務 ○プログラム実施の実際的措置 ○地区内におけるクラブ・レベルの奉仕 ○クラブ指導者の激励 ○年度目標の設定 ○RI のテーマ ○年度計画

開催時期は、3 月 1 日から 7 月 1 日までとされています。クラブ会長に就任するには地区協議会と P E T S に出席する義務があり、もしも欠席する場合は必ずガバナーの承認を得た上で、代理を出席させなければなりません。

なお、クラブ会長エレクトだけを対象に行われるものとして、クラブ会長エレクト研修セミナー(P E T S)がありますが、このセミナーは、①次期 RI 会長のテーマと、RI や財団のプログラムの検討 ②クラブおよび地区の次年度のプログラムの立案 ③クラブ会長のリーダーシップのトレーニング ④クラブ会長に対する地区の運営と活動に関する

情報提供を行うものです。

クラブ協議会は、クラブのプログラムや活動について協議するために、クラブ理事・役員、委員長を対象に開かれる会合ですが、その他の会員の出席も可能で、特に新入会員の出席が奨励されています。

国際協議会、地区協議会、クラブ協議会という一連の流れから、第一回目のクラブ協議会は、地区協議会の直後、即ち新年度を迎える前に行う必要があるでしょう。その他、カバナー公式訪問時や地区大会後など、年度内に数回開くよう要請されています。

あくまでも、クラブの指導者のリーダーシップをトレーニングするための会合ですから、クラブの例会とは別にすべきでしょう。

1999年10月2日

量か質か

1995-96 年度 RI 会長ハーバート・ブラウンは当該年度ガバナー全員との名刺交換の際、地区の会員増強目標の数字を書かせて、退任前にその実績を確認したことは、有名な事実です。「待ったなし」で会員増強を迫ってくる RI に対して、反論を唱える人も決して少なくありませんし、本来ならば、RI 役員として、RI の方針に従ってクラブに会員増強を伝達すべき立場にあるガバナーの中にも、量よりも質を重んじた発言記録が数多く残されています。

米山梅吉ガバナー月信の昭和 5 年 7 月 25 日号には「日本には米國其他或る國に行はるゝ如く一舉に多数のクラブを設立し無暗に會員の増加を計るを得策とせずとの當方の意見」と書かれていますし、昭和 6 年 5 月 23 日号には、「十一年前日本に於けるロータリー・クラブ創立の當初より、我等の[量よりも質に於て]との理想はロータリー自体の理想と共に固守せられて今日に及べることは、諸君と共に相顧みて満足を感じる次第なり。我が第七十区内には尚僅かに十一のクラブを有するに過ぎざるは、量に於ては少きに失すとなすものあらむも、質に於ては諸君と共に之が倍数のクラブに匹敵して遜色なかるべきの自信を有す」という記述があります。

また、1957 年度 368 地区ガバナー直木太一郎は「今しばし拡大をやめて、今居るロータリアンの原石を磨くべき時ではないか」という名言を残す一方で、「ロータリーの発展には、質の向上と数の増加が車の両輪の如く必要であると信じています」という言葉も残しています。

量にこだわる余りロータリー理念を理解していない会員が増えると、まともな運動ができないことは当然ですが、そうかといって極端に会員数が少なければ、ロータリーの理念を社会に広めることが不可能になります。すなわち量と質の双方が必要であることを意味しているのです。

量質論争で我々が陥りやすい過ちは、「量」×「質」= a (定数) 即ち、

「量」が増えると「質」が下がり、「質」を上げようとする「量」が減るのではないかという錯誤です。ロータリアンとしての資質を備えている人が限られた少数しかないのならば、その定数を越えた量が入会すれば質が下がるのは当然ですが、果たしてそうだと言い切れるのでしょうか。ロータリアンは質の高い職業人のみによって構成されているというのは、希望であると共に奢りでもあります。会員の中にも質の低い人が存在する一方で、会員でない人の中にも良質な人は数え切れない程、存在するのです。

「質」とは何を意味するのでしょうか。定款上の会員の条件は、「善良なる成人で、職業上良い世評を受けている者」となっているにもかかわらず、この条件以外の「質」を巡って、誤った判断基準をしているのではないのでしょうか。大会社の社長とか、金持ちとか、業界の大御所といった世俗の論理にに基づいた序列が「質」を表すものでないことは誰にでも判りますが、高い道徳的基準を持っているだけで、質の高いロータリアンであると言い切れるわけでもありません。

敢えて結論を述べれば、如何にロータリーの奉仕理念を理解し実践できるかが、ロータリアンの質を判断する基準になると思われませんが、その素質を持っているか否かを、入会前に判断することは不可能でしょう。そう考えていけば、会員の質を高めていく作業は、入会後に、毎週の例会や奉仕活動の実践といったロータリー活動を通じて、実施する筋合いのものであることが判ります。

将来素晴らしいロータリアンになれる資質を持った人だと信じるに値する人を積極的に会員増強して、一生涯続く自己研鑽の場であるロータリー・ライフの中で、その質を高めていくのが、最も現実的な方法ではないのでしょうか。長年クラブに在籍しながら、ロータリーの理念を忘れた人たちを再教育することも、質を高めるために是非とも必要な活動です。

1999年10月23日

ロータリー・・・命名の由来

このクラブに名前をつける段階で、最初に提案された名前はブースタークラブ **Booster Club**（推進者）でした。

「ブースター？ 電圧の上昇？」

辞書には、前進を助けるために、下から持ち上げるか押し上げると言う意味が書かれています。悪くない！ 現在のアメリカにぴったり当てはまる言葉です。どんな都市や町にある大学や高校には、ブースター組織があり、その種類は **20** 以上にもなっています。

しかし、もっと思慮深い考え方が、クラブにその名前をつけることを思い留ませました。

「我々はシカゴを押し上げることに関心があるわけではないし、いわんやこのクラブを押し上げることでもありません。すでに、そのために商工会議所という特別な組織ができています。クラブ会員の望んでいることは、世間の注目をあびている彼ら自身を“押し上げる”ことであり、相互取引によってより多くの金を稼ぎ、毎週の例会でささやかな楽しみを持つことなのです。」と、ポールは反対しました。

「ラウンド・テーブル・クラブ **the Round Table Club** はどうだろう」と、誰かが提案しました。これもまた悪くはありません。アーサー王の円卓会議は、重要な人が参加することで有名であり、高貴な香りすら漂ってきます。しかし、その名前には新鮮味がありませんし、新しい国の活力溢れた都市には相応しいとは思えません。

「コンスピレーターズ・クラブ（共謀者）**the Conspirators Club** と呼んだらどうだろう？」

皆はその名前について考えながら、長い間、沈黙の時間が流れました。ついに、たまり兼ねた一人が尋ねました。

「なぜ 共謀者なんだい？ 我々は何を共謀しようとしているのか？」

その言葉は、普通、あまり良くない行為を意味すると思うんだが。」

ポールは必ずしも、そんなふうには考えませんでした。その言葉の先入観が、クラブ本来の趣旨を混乱させるかもしれないと考え、その意見に賛成しました。

ザ・シカゴ・フェローシップ the Chicago Fellowship、ザ・ブルー・ボーイズ the Blue Boys、シカゴ・サークル Chicago Circle、ザ・レイク・クラブ the Lake Club、FFFクラブ、メン・ウイズ・フレンズ Men with Friends、フレンズ・イン・ビジネス Friends in Business、トレード・アンド・トーク・クラブ Trade and Talk Club、ウインディ・シティ・ラウンドアップ Windy City Roundup 等々、沢山の名前が卓上を賑わしましたが、決定的な名前を提案する人は誰もいませんでした。

最後に誰かが言いました。

「我々はお互いの事務所で、一種のローテーションを取り決めて、会合を開いている。ロータリークラブ Rotary Club と呼んだらどうだろう。」

残念なことには、その言葉を誰が発したのかを、幹事は記録していませんでした。ひょっとしたら、ポールの言葉だったのかも知れません。

しかし、1年後には、名前を決めた詳しい経過を覚えている人もいなくなり、現在は、そんなことがあったという事実を知っている人すらいなくなってしまうました。

[ゴールデン・ストランドより抜粋]

1999年11月13日

クラブ会長の役割

会長は形式上のクラブ代表者であり、しばしば象徴としての天皇に例えられます。他の団体では会長がその団体の代表権者であることが多いのですが、ロータリーでは会長・幹事が共に代表権者となります。R I からクラブに発送される文書は「会長・幹事」宛であり、クラブ内部文書や会員証のサインが幹事であることから、両者が共に代表権者であることが判ります。会長は対内的にはクラブ運営の責任と事業の執行権および役員や委員長長の任命権を合せ持っていますが、執行権は実務上の代表権者である幹事に任せるべきでしょう。

会長にはクラブ運営という大きな責任があり、クラブの自主性を生かし活性化を図るためには、強いリーダーシップが要求されます。

会長の特権として、毎例会に会長の時間が与えられますが、会長の時間は会長挨拶ではなく、奉仕理念を提唱する貴重な時間だということを忘れてはなりません。与えられた任期中 50 回の機会を有効に活用して、会員にロータリーの奉仕理念を伝え、これを育むことこそ、会長に与えられた最も大きな責任と言えましょう。

外国ではパスト会長に尊敬と感謝の念を込めて P.P. という称号を与えています。しかし、これは称号だけのことであり、会長経験者と言えども任期が過ぎれば一介のロータリアンに過ぎません。クラブ内でリーダーシップを発揮できるのは、会長の任期中だけしかないと自覚して、最大限の努力をすることが必要です。

世俗の論理を尊重しがちの日本では、会長の選挙に当たっても、どうしても社会的地位とか年功序列に捉われやすく、その結果として若い会長が極端に少ないのが現実の姿です。会長を経験しなければ、ガバナー補佐やガバナーになれず、ガバナーを経験しなければ R I の理事や会長になれない規約なので、会長に就任する年齢が極端に高い日本からは、働き盛りの R I 役員を出すことは先ず不可能なのが現実です。世界を舞

台としたロータリー活動で、日本がリーダーシップを発揮しようと思うのなら、何はさておいても、若いクラブ会長を作ることがその第一歩となります。

会長は総会及び理事会の議長を務め、すべての委員会の職権上の委員となりますが、必ずしも理事である必要はありません。

就任条件として、会長エレクトの期間に、地区協議会と会長エレクト研修会に必ず出席するか、又はガバナーの許可を得た上で、代理者より研修報告を受けることが要求されており、過去に幹事を経験した者を会長就任の条件ととしているクラブも多いようです。

1999年11月20日

クラブ幹事の役割

クラブ幹事は執行部門の代表者として、内閣総理大臣に例えられ、実務上の権限と責任を持っています。正副委員長や委員の選定（任命権は会長）等の人事、予算組み、会員の入退会、事務局等のクラブ管理に関する実務的事項は、すべて幹事を窓口として処理されます。

ロータリークラブが社交クラブとして発足した歴史的背景から、クラブの取りまとめ役であり世話役でもある幹事の存在は大きく、留任はむしろ推奨されており、大阪クラブの露口四郎は13年間幹事を務めたという記録を持っています。

シカゴ・クラブで40年間幹事を務めたチャールズ・シュミットに対して、プリベンセン会長が次の言葉を贈っています。

「我々はマザークラブの賢人、新入会員の父なる告白者、桂冠詩人、プロの抒情詩人、数分間の記録者、決議の提案者、記録の保管者、金庫の見張り番、事務局の聡明なる王、委員会委員長の助産婦、気配りの玄人、会長の養育者としてシュミットを認めるものです。」

近年、幹事の権限が徐々に縮小されて、その権限を会長に移す傾向が強くなり、1962年のR I理事会決議によって、その任期も他の役職同様に一年間が原則となりました。

執行部門の代表権者ですから、審議部門にはタッチしないことが原則で、すべての委員会に属さず、執行部門の代表権者としての発言、助言、勧告以外に、理事会や委員会の運営に関する権限を持っていません。従って、理事会の議長を務めたり、委員会報告の代行を幹事に依頼することはできませんし、例会の司会を幹事に委ねることも避けるべきでしょう。職権上の理事であり、定款細則を始めあらゆる情報に精通した実務上のプロとして、理事会で積極的に発言、助言、勧告する義務がありますが、執行権者という立場から考えれば、議決には参加しない方が決定事項を執行しやすいでしょう。

ロータリーに関するあらゆる情報は幹事に集中するので、クラブ会報の編集も本来幹事の役割ですが、実際には副幹事が代行する場合があります。

就任条件として、いずれかの委員会の委員長を経験した会員から任命されます。

具体的職務内容

- 会員記録の整理保存。
- あらゆる会合の設営、召集通知の発送、出席記録、議事録の作成と保存。
- R I に対する会員半期報告（1月1日、7月1日）、四半期報告（10月1日、4月1日）、出席報告を含むあらゆる報告と連絡。
- ロータリアン誌購読料の送付。
- 会員証、メイクアップ・カードの発行。
- ガバナー公式訪問報告書の作成。
- 会長、理事会、委員会、会員との連絡調整。
- 理事会の意向を受けて会計と共に予算書やよび決算書を作成する。決算処理と会計書類の作製は会計の業務となるが、予算の大枠を組む作業は幹事の責任である。

1999年11月27日

ボーダーレス社会

日本は単一民族と単一言語を持つ国であるという幻想が見事に崩れ去ると同時に、国際化の波が押し寄せてきました。それでも、年功序列と終身雇用という戦時下の経済政策を踏襲し、外国との競争に打ち勝つために保護・規制政策と護送船団方式という、世界の市場原理と全くかけ離れたやり方で、自己満足しているうちに、冷戦の終了と共に、世界全体の流れは国際化を超えて、ボーダーレスの状態になだれ込んでしまったのです。国際化とボーダーレスとは全く異なった次元のものであり、国際化とはその字の通り「国」があって、「際」即ち国境も存在します。但し国と国との間で、例えばビザの相互免除や特恵関税などという法律を適用して、なるべくスムーズに交流できるようにしようとか、学生を交換して外国との相互理解を深めようという、いわば過渡的な措置であったのに比べて、ボーダーレスは国境と言う概念を除いたものであるだけに、人や金や物の移動はもちろんのこと、文化や考え方や法律までもが世界的レベルで共通化するという、想像もつかない未来がすでに訪れつつあることを意味するのです。

まず直接的に大きな影響を受けるのは金融かも知れません。日本が国策上 1%の金利を固持しようとしても、アメリカが 5%の金利を設定して、外貨預金が完全に自由になれば、資金は結果としてアメリカに流れていくだろうし、法外な手数料を取っている証券も同じです。

文化や芸術や有益な情報の交流は良いとしても、有害な情報が及ぼす影響は甚大です。ある国では合法的な情報でも、別の国では非合法である場合もあるし、青少年に及ぼす悪影響が懸念されるポルノも、既にインターネットを通じて世界中に氾濫しています。国内法では規制できないこういった分野こそ、職業倫理昂揚と青少年活動のメインテーマとして、全世界のロータリアンが取り組むべき活動ではないでしょうか。

物流も大きな影響を受けるに違いありません。現在アメリカではアウ

トレットを通じた商品販売から、インターネットによる通信販売に大きく流れが変わりつつあり、特に、家電製品、耐久消費財、衣服、寝具、航空券、建築材料などは、いろいろなネットワークから、一番安くてもいいものを探して注文するのが当たり前となっています。メーカーから総代理店、商社、大卸、小卸、小売などという流れは日本だけのものであり、それぞれの段階で取る利益が、世界一高い品物を買わされる元凶であると同時に、多くの雇用を作り出して世界一低い失業率を生み出した功績ともなっていますが、インターネットによる購入が普及すると、消費者はメーカー、それも世界中のメーカー直接物を買うことができるようになるのです。

さらに、インターネットを通じて物販をしている業者の中には、麻薬や銃を扱っている者すらあり、どんなに厳しい税関検査でもそれを完全に阻止することは難しいでしょう。

物やサービスの価格は、提供する側が材料費と経費と利潤の計算から決めるのではなく、消費者が全世界の同じような商品やサービスの価格を基準にして決めるのであって、消費者にそれを選択させる情報が充分に行き渡る時代がやってきたのです。

好むと好まざるに関わらず、21世紀とはそんな社会なのです。

2000年1月2日

職業奉仕の考え方

職業奉仕というロータリー用語は、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した独特の概念です。職業 **Vocation** と奉仕 **Service** とを結び合わせた一般的な熟語として考えると、職業と奉仕の夫々の単語の持つ意味を巡って、いろいろな解釈や誤解が生じて、職業奉仕の概念を難しいものにしていきます。職業奉仕を正しく理解しようと思えば、この言葉は、シェルドンの奉仕理念に基づいてロータリーが作った独特の概念だということを、まず理解しなければなりません。

シェルドンは、彼の専門分野であるサービス学の独特の考え方を、ロータリーの概念の中に導入しました。今までロータリアン同士の相互取引によって得てきた利益を、サービスの実践によって得ようという考え方です。

ロータリークラブが職業人であるロータリアンによって構成されている以上、会員個人の事業母体の発展ないしは安定的な維持、利益の向上を図ることが、ロータリー運動を持続し発展するための大前提です。

シェルドンは、繁栄する事業の共通的な特徴に、顧客や取引先の立場を配慮した **Service** があることを指摘しました。不正や不道德や世間に受入れられないような方法で、一攫千金の利益を夢見たり、会員間の相互取引によって利益をあげるような姑息な手段を弄するのではなく、「自分の幸せは、自分の周りにいる人々の幸せと、決して無関係ではない。良質の職業人とは、自己改善を重ねて、自分の職場を健全に守ると共に、取引先・下請け業者・従業員・顧客など、自分の事業と関係を持つすべての人に幸せをもたらすことである。そして、その心を持って事業を営めば、必ず最高の利益が得られることを自分の職場で実証することによって、奉仕の精神の必要性を地域全体の職業人に伝えていかなければならない。」という考え方で事業活動を営むことが、職業奉仕であると説いたのです。

このように、職業奉仕の考え方は決して難しいものではないのですが、「職業奉仕は難しくてなかなか理解できない。」と思いついでいる人も結構多いようです。職業奉仕とは一生懸命仕事に精出すことだと誤解したり、社会奉仕と混同する会員がいる一方で、職業奉仕は判らないと言いつつ、立派に職業奉仕を実践しているロータリアンが沢山いることから、職業奉仕の理論が十分に理解されていないことは確かかも知れません。

パーシー・ホジソンは、「奉仕こそわがつとめ **Service is my business**」の中で、モリエールの喜劇 [にわか紳士に変わった商人] を例にして、職業奉仕を次のように説明しています。

ラブ・レターの書き方を教わりにきた無学な商人が、聞きかじりで「散文や韻文を使わないで。」と条件をつけました。どちらかを使わなければ文章は書けないと答えると、「普段使っている言葉で書いてほしい。」と注文をつけます。普段使っている言葉が [散文] であることを知らないで、[散文] を使いこなしていた商人の姿に、職業奉仕が判らないと嘆きつつ、職業奉仕を実践しているロータリアンの姿が、オーバー・ラップされています。

職業奉仕が何のことだか判らないというロータリアンは、この商人と同じ当惑を感じておられるのではないのでしょうか。こういう不平はたびたび耳にするところでもあります。漠然としている、掴みどころがない、理論的だというような言葉は、そのロータリー計画のこの部分に、うず高く積み上げられた数多くの非難の幾つかであります。だが、何によりも、職業奉仕は最も簡単で実際的なものであります。各人の生存と職業の [散文] の他なりません。

[散文] は恰も生きんがための長い年月にわたる苦役のように冴えないものとなることもありましょう。また [散文] は、彼の職業に奉仕の機会を見出した実業家、技術家または謙虚な職人の誰でもが為すような、

観点にあふれる靈感と閃光で躍動することもできます。苦役か奉仕か。それこそ、その人が仕事にとりかかるときに、毎朝各人が選ぶところのものであります。その人がその人の職業をどういふように見ているかが重要であります。その物の見方はその観点によるものであります。

2000年1月8日

世界社会奉仕 WCS は国際奉仕か

ロータリーの綱領第 4 項には国際奉仕の理念が、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門業務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」と定義されています。この定義に従えば、国際奉仕とは、国家という概念に捕らわれず、ロータリアン同士の信頼ある友情に基づいた国際理解と善意によって、現実の一つではない世界を一つにして、恒久の世界の平和を達成することを意図したものであることが判りますが、最近の国際奉仕の諸活動を見ると、この主目的が忘れ去られて、人道主義に基づいた援助活動である世界社会奉仕が主流を占める傾向が目立ちます。

世界社会奉仕を国際奉仕の範疇に入れることに対して、1957 年度 365 地区ガバナー直木太一郎氏は、「国際問題の解決と国際奉仕の実践とを取り違えてはいけません。世界社会奉仕は、他国の飢餓問題とか貧乏の問題とかその他色々の困った問題を解決するだけのものであって、ロータリーのいう国際奉仕の実践ではない。ロータリーの国際奉仕とは個人同志の付き合いで世界平和を達成することである。」と述べています。

従って、綱領に従った純粋な国際奉仕活動は、国際青少年交換、ロータリー友情交換、国際親善奨学生制度、趣味職業別世界親睦活動、姉妹クラブ、ロータリアンによる個人レベルやクラブレベルの交流ということになります。

世界社会奉仕は 1962 年にニッティシ・ラハリーによって提唱された奉仕活動の実践形態であり、国境の壁を越えた金銭面、マンパワー双方による奉仕活動であって、その名の通り、国際的な分野にまたがった社会奉仕活動とすることができるよう。ただ、その対象が外国ということから、国際奉仕部門に分類されたものと考えられます。

ロータリー理念はロータリアンが遵守しなければならない必要条件なので、綱領ではっきり定義されていますが、奉仕活動の実践はロータ

リークラブやロータリアン個人に委ねられた充分条件なので、綱領上は第 3 項に、「ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に、常に奉仕の理想を適用すること」と、述べられているに過ぎません。

人道的立場から国際問題を解決しようとする世界社会奉仕活動は、この第 3 項を基づくと考えた方が、ロータリーの理念との整合性が保たれると思います。

理屈はどうあれ、世界社会奉仕が国際奉仕部門に含まれることが明文化されている以上、実施に当っては、その具体的なプロジェクトを完結させることは当然としても、その奉仕活動を通じて両国のロータリアンが国際理解と親善を深め、平和を達成することを究極の目的とする必要があるのではないのでしょうか。

2000 年 1 月 16 日

ロータリー道徳律制定の経過

「有益な事業の基礎として奉仕の理念を鼓吹し、これを育成する」というロータリー綱領の本文から、ロータリー理念の中核をなすものは職業奉仕であり、さらに綱領の第2項から、職業奉仕の目指すものは、職業倫理高揚であることが理解できると思います。

1911年にロータリー・モットーが採択され、1912年の定款改正が行われたにもかかわらず、ロータリアン同志の相互取引を中心にした互惠主義が一向に改善されないことに対する批判が強まり、1913年のドゥルース大会で、これを具体化するために、ロータリアン個人個人がどのようにして職業倫理を高めるかという指針を具体化した特別な道徳律を作って、1年後にヒューストン大会に提出することが決定しました。

委員長に任命されたアイオワ州シューシティ・クラブのロバート・ハントは、「実業家のための道徳律」として具体的に示すべき事項について、全国のロータリアンから提案を求めたところ、数百にもものぼる返事が集まりました。しかし彼は、個人的事情のためその役割を全うすることができなくなって、後ろ髪を引かれる思いで、同じクラブの会員であるパーキンスに後を託します。

パーキンスは身近な友人数名を委員に任命して、約5,000語にもものぼる最初の草稿を書き上げましたが、その作業は大幅に遅れ、最後の整理を目前にして、ヒューストン大会の日が迫ってきました。

アイオワから乗り込んだ大会特別列車は途中のカンザスシティで、シカゴから来た列車に連結され、それに乗ってきたシカゴ・クラブ会長のハーバート・アングスターと会うという偶然に巡り合わせました。アングスターが彼らに専用のサロンを提供し、彼らはそこで最後のまとめの作業に没頭することになりました。もっとも、これは決して偶然ではなくて、アングスターが事前にそのことを知って、特にお膳立てしたもの

と思われます。

ともかく、そのサロン・カーの中で、使用済みの封筒の裏やノート・パッドやスクラップ・ペーパーに至るまで、そこにあるものは何でも使い、清書用には誰かが探してきた 列車に備え付けの、7 枚の綺麗な便箋を使って 500 語の文章にまとめあげました。

プロローグは、ジェームズ・ピンカムが基本的な考え方を書きましたが、各条文は委員のジョン・ナトソンの偉大なる労作であり、最終章である第 11 章は、彼の母国語であるドイツ語で書かれています。彼らが最終原稿を握りしめて、ハーバート・アングスターに大声で読んで聞かせた時には、大会特別列車はヒューストン駅近くのレールを「ガッタン、ゴットン」と走っていました。

1914 年のヒューストン大会において、この道德律をすべてのロータリアンに送って、研究することが決まり、更に 1 年後にサンフランシスコ大会で、ほぼ原文のまま採択されて公式な道德律となり、「ロータリー通解」に収録されて全会員に配布されました。その後 40 年間にわたって、この道德律は、ロータリアンの道しるべとして、多くの言語に翻訳されて、世界中のロータリアンの事業所の壁に掛けられることとなります。

2000 年 1 月 29 日

奉仕こそわがつとめ

1948年にR Iから発行された「奉仕こそわがつとめ」Service is my Business は、1949-50年度R I会長パーシー・ホジソン Percy Hodgson が書いた職業奉仕の解説書であり、過去のロータリー運動の中で取上げられた職業奉仕の具体的な事例を豊富に盛り込んで、職業奉仕を実践するに当って、ロータリアンが取り組まなければならない課題を、項目別に問題提起したものです。

職業奉仕の理念を現実の職業生活の中でどのように実践していったらよいのか、具体的な取り組み方が判らない人でも、この文献を読めば完全に理解できるはずです。

なお、パーシー・ホジソンは自分が会長を務める年度の奉仕理念を分かりやすく示すための方法として、今日のR I会長テーマ Rotary International Themes の原型ともいべき Objectives of Our Team for 1949-50 を掲げ、その最初のテーマの中心となった言葉が「奉仕こそわがつとめ」Service is my Business です。

第1章 クラリオンの呼び声

- ☆ 同一職種のロータリアンとロータリアンでない人々とが、どのようにして利益を分かち合うべきか。

[職業奉仕とは、ロータリアンがロータリーの職業奉仕を実践して得た利益をロータリアンでない他の人々と共に分かちこと、即ち一般の人々とロータリーの理想を共に分かちことである]

第2章 職業を権威あらしめること

- ☆ 日頃の職業生活で奉仕の理想を実践している地域社会の人々が、世間から讃えられるようになるためには、どうすればよいか。

[ロータリー・モットー及びロータリーの綱領に示されているように、世の中で有用な全ての職業の価値を認識し、職業倫理の向上に

よってその権威を高める]

第3章 敵を愛せよ

- ☆ 社会に対する共通の奉仕を推進するために、どのようにして同業者と協力するか。
 - 同業者間の友情を培うこと
 - これらの友好関係が価格協定に繋がらないよう注意すること
 - 商標名の模倣や競争業種からの従業員引き抜きを慎むこと
 - 個人的な特別な関係のない限り、商売上での特別な便宜を友情の名を借りて依頼しないこと
 - 競争者という言葉を忘れ、同業者として接すること

第4章 現代のギルド

- ☆ 同業者の職業倫理基準を高揚するために、何ができるか。

[ロータリークラブ創立に際して最も重要なことは、地域社会における全ての有用と認められた職業の優れた代表を、会員として獲得しなければならないことである。同様な考え方は、新会員を選考する場合にも当てはまる。ロータリアンはその事業を成功に導かなければならない。ロータリアンは職業上の優れた技術者でなければならない。ロータリアンは疑いを差しはさむ余地のない人格者でなければならない。ロータリアンは技術上、倫理上の高い水準を保持し、更にその水準を高めるように努力しなければならない。ロータリークラブこそ、将に優秀な芸術家の集合体であるともいえる]

第5章 誠意

- ☆ 職場の同僚の誠意をどのようにして高めるか。

[人間相互の誠意は買手および売手間のすべての取引の本質的な要素である。競争者が相互の誠意を信じれば、自然に友好的な協力関係が生まれる。雇主と従業員も、お互いに誠意と尊敬に基づく信頼感があれば、仕事は最大の能率をあげることができる]

第6章 正直は失われつつあるか

- ☆ 買手への贈り物やチップの習慣に対して、どのように対処するか。
[不公正な商習慣と知りつつ、その誘惑に負けてしまい勝ちだが、果たしてロータリアンは非ロータリアンよりも、その誘惑に負けることが少なかったかを、自問しなければならない。あらゆる職業上の不公正な誘惑、即ち二重価格、抱き合せ販売、価格つり上げ、闇カルテル、不良品の見逃しの機会など、多くの不正の機会が提供され、ついついその誘惑に負けることが多い]

第7章 真実かどうか

- ☆ 商圏内の広告基準をどのようにして改善するか。
 - 広告の体裁や効果を高めることに主力を注ぎ、商売上重要な説明をおろそかにしてはいないか
 - 写真や説明文は商品を客観的に説明しているか
 - 科学的な証明とか、冷厳な事実とか、秘密値段といったセンセーショナルな文章が、実際の商品を粉飾するために用いられてはいないか
 - 専門以外の名士の推薦の辞が、技術上の優秀さを示す正直な証言といえるか
 - 謝礼金を払って証言させた広告を用いてよいか
 - 以前は十ドルの品とか百ドルの価値ある品というような比較の言葉が、値下げした商品の値段を実際に下げたことを証明することになるであろうか
 - その広告を出すことに関係した者全部が、全社会に対する責任を充分自覚しているか

第8章 人間関係の開拓者

- ☆ 買手と売手との関係を改善するために、どのような取り組みをしているか。
 - 何故・・・人々は買うのか。価格や品質と共に顧客の欲求や夢を満たすことが重要な要素である

- 何を・・・顧客は実際に求めるのか。顧客自身が選択し決定することを前提とした、正確かつ十分な情報提供
- 如何に・・・顧客の要求を満たすために如何に環境を整備したか。従業員の専門的訓練
- 例え、その職業が物品の販売でなくとも、これらの取組みは職業人と顧客との関係に応用することができる

第9章 心の通り路

- ☆ ロータリーの目的を従業員に理解させるために、どのような努力をしているか。

[従業員が不満をのべたときの対処法]

- 従業員の話す話を耳を傾けて聴くこと。従業員が胸中思っていることを全て吐き出させたとき、多くの問題は独りで解決する。
- 雇用主の理論をふりかざして、議論しないこと
- 説教しないこと。説教は一方的な意見の押しつけととられ意思の疎通を妨げる
- 従業員がいわんとすることに注意を払い、それをはっきりいわせるよう助力すること
- 道徳的基準で押し量ったり、それを態度を示さないこと
- 自分の感情を差しはさまないこと
- 自分が従業員の言い分をどの程度理解できたかを自問し、同時に、ときおり、従業員の見解を要約して、次にいわんとする処を引き出すこと
- このような会見で、雇主が示す態度は、従業員にその不満を残りなく話させるようにし、苦勞を理解してやり、そして解決を見出す努力をすることである。

第10章 従業員に対する公正な扱い

- ☆ 従業員を公正に扱うために、どんなプランを練ったか。
 - 生産に携わる人たちが、経営陣や管理職の人たちから公正な扱い

を受けているか

- 彼等の安全が保証され、且つ安全が保証されていることを感じとれる環境になっているか
- 彼等が情熱を傾けて仕事に励むように努力が払われているか
- 彼等の給料は適当な生活を保証するに足りるか
- 彼等は能力があれば昇進できることを自覚しているか
- 最高の刺激、創造的活動が喚起できる環境が備わっているか
- 彼等が人間の尊厳を高める感覚を持ってその仕事を行えるか
- 彼等が仕事を通じて、役割の重要性、責任感、地域社会に対する責任を感じとれる仕組になっているか
- 彼等は自分の任務を遂行することが、人間の尊厳に繋がることを理解しているか

第11章 ロボットか、人間か

☆ 職人魂を引き出すために、雇主はどんな方法を講じたか。

- お互いが同輩から尊厳を受ける職場環境にあるか
- 物質的にも恵まれ、経済的に安定しているか
- 自己の業務に対して責任ある立場にあるか
- 自分に当てがわれている仕事が、事業の発展と知識吸収に役立つか
- 自分の職業が生計を保全する基礎になっているか

第12章 職場における将来のマン・パワー

☆ 職場において、若い従業員とのコミュニケーションが円滑におこなわれているか。

[青少年を雇用する場合の注意義務が述べられているが、青少年奉仕に対する考え方と重複するので省略]

第13章 協調の礎石

☆ 労働組合の幹部をロータリークラブの会員に迎える可能性について、検討したことがあるか。

- 従業員が求めるもの・・・公正な給料、業務上の安全の保証、業務上の刺激、やりがいのある業務)、業務能力の認識、経営参加
- 雇主が求めるもの・・・仕事量に見合った公正な給料、雇用主に対する忠実と好意、生産量の増加、経営の主導権保持と計画立案、投資に対する公正な配当

第14章 ロータリークラブの運営

- ★ どのような職業奉仕のプロジェクトが、クラブ会員の職場にふさわしいかを検討したか。

第15章 今ぞあなたの働く番

2000年3月5日

出席委員会の役割

出席委員会の任務

1. 例会に規則正しく出席することが、ロータリアンの必須条件であることを、クラブ会員に周知徹底する。
2. クラブ会員に出席規定を知らせる。
 - メイクアップの方法
 - 出席免除
 - 出席義務の免除
 - 出席義務の特別免除
3. 低い出席率の原因を探り、それを向上させるための対策を講じること。
4. クラブ例会、地区大会、国際大会等あらゆるロータリーの会合への出席を促す。
5. クラブ例会を欠席したときは、メイクアップをするように奨励する。
6. 当日の例会出席率および、メイクアップを含めた前々回の修正出席率を計算して、幹事に報告すると共に、例会で会員に報告する。
7. 当日の出席者を確認し、欠席者の氏名を幹事に報告する。
8. 年度末に出席優良者を表彰する。表彰の対象は長年連続出席者および年間ホームクラブ皆出席者（ミスター・ロータリー）とする。

出席向上の工夫

1. 例会に欠席したときには、必ずメイクアップをするように奨励する。
2. 出席したいと思わせるようなクラブの雰囲気を作ること。
3. 本人にとってやりがいのあるクラブ活動や役職を割り振ること。
4. クラブ内および他クラブとの出席競争をする。
5. 出席優良会員に敬意を払うこと。

欠席者に対する対策

1. 例会を1回欠席した会員には、遺憾の意を表明し、近隣クラブでメイクアップできるように、例会日と例会場を知らせる。
例会欠席後4日以内にメイクアップをしていない場合は、電話をかけてメイクアップを促す。
欠席会員同士でメイクアップするように手配する。
2. 例会を2回続けて欠席した会員には、文書で注意する。
3. 例会を3回続けて欠席した会員には、4回連続欠席すると会員身分が自動的に終結することを、文書で警告する。
4. 懇談会を開いて、ロータリアンであることの意義、出席規定、身分終結規定について話をする。

2000年3月21日

親睦活動委員会の役割

親睦活動委員会の任務

1. ロータリー運動の原点は会員相互の親睦であり、会員同士の連帯感がロータリーの発展の要であること。
2. 親睦活動の中心は、一人一業種で集う、毎週の例会であること。
3. クラブ会員間の親睦を深め、知己を広げるために、例会、奉仕プロジェクト、レクリエーション、社交的行事への会員の参加を奨励すること。
4. 来訪ロータリアンとの知己を広げること。

親睦を深めるための具体的活動

1. 例会において会員同士の親睦を深める活動
 - 1) 年齢間のギャップを融和する
 - 2) 新入会員の融和を図る
 - 3) 座席の固定化を防ぐ
 - 4) テーブル・マスターを配置する
 - 5) 名札をつけるように配慮する
 - 6) クラブ週報にクラブの催しや、会員に関する情報を提供する
 - 7) 会員の健康や慶弔に留意し、それに対処する
 - 8) 唱歌を指導する
2. 来訪者との知己を広める活動
 - 1) 受付でビジター・フィーを受領し、名札を渡し、座席に誘導する
 - 2) 例会で来訪者を紹介する
 - 3) 例会中、来訪者を接待する
3. 例会外でレクリエーションの世話をする
 - 1) 会員親睦会や家族親睦会を実施する
 - 2) 同好会活動を推進する

- 3) 近隣クラブとの交流拡大を計画する
- 4) ロータリー親睦活動を紹介する
- 5) 国際的親睦プログラムを紹介する

2000年3月25日

ロータリー情報委員会の役割

ロータリー情報委員会の任務

1. 入会候補者にロータリー・クラブにおける会員の特典と責務に関する情報を提供する。
2. 会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供する。
3. 入会してから、最初の1年間、新会員のオリエンテーションを監督する。
4. 1月のロータリー理解推進月間に、ロータリー情報に関する特別プログラムを実施する。
5. クラブ創立記念日、ロータリー創立記念日の特別プログラムを実施する。
6. ロータリーの歴史や奉仕理念に関するフォーラムや勉強会を実施する。
7. クラブ会報に、RIの各種プログラム、諸会合、その他のニュース等をロータリー情報として掲載する。
8. 例会において3(5)分間情報を提供する。
9. ロータリー出版物の紹介
10. クラブ会報委員会、プログラム委員会、広報委員会との緊密な提携が必要。

会員のオリエンテーション

1. 入会候補者に対するオリエンテーション
 - 入会候補者にロータリークラブにおける会員の特典と責務に関する情報を提供する。
 - クラブの例会や奉仕プロジェクトに招待して、ロータリーの活動を見る機会を与える。
 - 入会式で提供する資料の選定。

2. 入直後の会員に対するオリエンテーション

- 入会后 6 ヶ月以内に、ロータリーの基礎知識を充分与えることが必要。
- 新入会員がクラブに溶け込めるように手助けするベテランの会員を指名する。
- 四大奉仕に関する家庭集会を実施する。
- メークアップの方法を教える。

3. 新入会員（入会三年未満）に対するオリエンテーション

- ロータリーの基礎知識や考え方についての理解が乏しく、不正確な解釈や疑問を抱いたままになっているケースも多い。ロータリーの基礎知識や基本的な考え方についての正確な情報を提供する必要がある。
- IM、地区大会に推薦者と共に出席する。

4. 中堅会員（三年～十年）に対するオリエンテーション

- 委員会活動や奉仕活動の実践の経験を経て、ロータリーに関する理解度は高まってはいるが、まだ不十分であったり、中には間違っ理解したままになっているケースもあるので、これを補足したり修正したりするプログラムが必要である。
- 理論、実践両面でロータリーを理論づけるプログラムが必要となる。

5. 古い会員に対するオリエンテーション

ロータリーに関する知識と理解も深まり、豊かな経験を積んでいるが、更により高い完成度を持ったロータリアンへを目指して、たゆまぬ研鑽が必要である。

2000年4月3日

クラブ会報委員会の役割

クラブ会報委員会の任務

1. クラブ週報を定期的に発行する。
2. ロータリー情報が満載された "Weekly Bulletin" として、プログラムの予告、諸会合のハイライト、クラブ、会員、ロータリー一般の報告を掲載する。
3. 新しいアイデアや情報を知るために、他クラブと週報を交換する。

クラブ週報編集の留意点

1. 委員会活動はクラブ会報を通じて広報されることを考えて、他の委員会と緊密な協力体制をとる必要がある。
2. クラブ週報は年次報告書と共に、クラブの管理運営や活動のすべてを知る貴重な財産であり、ロータリー年度を重ねる度にその貴重度が增加する。将来に残すクラブの歴史を記録しているという認識を持って、編集しなければならない。
3. 委員会活動であるから、事務局や外部の専門の編集者に依頼せず、会員の努力で編集することが望ましく、卓話担当者や例会で報告を行った会員が、週報編集用の原稿を提出するように習慣づけることが大切である。

クラブ週報の内容

1. 会長のコラム
2. 卓話抄録
3. 出席報告
4. 来訪者紹介
5. 理事会報告
6. 委員会報告

7. 会計報告
8. 会員の動静
9. 誕生日
10. 未充填職業分類表
11. R I や地区のニュース
12. ロータリー情報
13. ニコニコ箱
14. 次回例会プログラムの予告

クラブ週報の情報収集源

1. クラブ理事会、クラブ委員会
2. 地区、ガバナー月信
3. ロータリーの友
4. RI
5. RI 出版物、ロータリー・ワールド、国際ロータリー・ウェブ

2000年4月12日

会員増強委員会の役割

会員増強委員会の任務

1. クラブの職業分類表を絶えず検討し、未充填職業分類を適格な会員候補者で充填すること。
2. クラブが会員増強に積極的に取り組むように配慮する。
3. 会員増強は必ずしも質の低下に繋がらないことを認識して、会員総数の上限をもうけるべきではない。

近年特に会員増強の必要性が強調されている。クラブの親睦と財政のバランスを考えると60乃至70名が適正だと考えているクラブが多いが、適正人数にこだわって会員増強を疎かにすれば、確実に平均年齢が上昇し世代交代もうまく行われない結果となる。

会員増強は委員会のみ活動ではなく、会員全体の努力が必要であり、絶えずクラブの職業分類表を検討しながら、未充填の職業分類を充填する適当な人を理事会に推薦しなければならない。

クラブ会員の平均年齢を引き下げよう努力しなければならない。若い会員は、クラブに活力と新鮮な考え方をもたらす。ロータリアンの質とは、ロータリー・ライフを通じて将来素晴らしいロータリアンに成長する素質があるかどうかであり、クラブを奉仕の理念を育み人間性を高める人生の道場と考えるのならば、入会は若ければ若いほど良いことは明らかである。

会員増強の対象

1. 新会員推薦は各ロータリアンの責務であることを印象づける。
2. 例会で、未充填職業分類表を発表する。
3. クラブ会報に、未充填職業分類表や会員増強に関する記事を掲載する。

4. クラブの全会員に、一人ずつ候補者を割り当てる。
5. 例会において、推薦手続きを含む会員増強のプログラムを実施する。
6. クラブ・アッセンブリーやクラブ・フォーラムで会員増強の必要性を強調する。
7. 会員増強に関する資料を配布する。
8. 会員増強目標の進捗状況をクラブ会報や、例会で報告する。
9. 事業所の開設や移転等、会員増強に影響を及ぼす地域社会の変化を把握する。
10. 会員の退会を防止する。
11. 8月の会員増強および拡大月間に、特別プログラムを実施する。

2000年4月19日

会員選考委員会の役割

会員選考委員会の任務

新入会員として推薦を受けたすべての人を、個人的な面から検討し、一般的な適格性並びに職業上の地位を評価して、その人格を徹底的に調査して、その結果を理事会に報告する。

会員候補者の評価基準

1. 本人の人格に対する、業界や所属団体や地域社会の評判
 - 1) ロータリークラブに入会したために、意図的に都合の悪いことを隠蔽したり、虚偽の申告をしていないかどうか。
 - 2) 適格性の問題で、他のクラブを退会したり、クラブ間をたらい廻しにされた経緯がないか。
 - 3) 暴力団との繋がりはないか。
 - 4) 裁量権を持っているかどうか。
2. 事業所の評判
 - 1) その事業は正業であるかどうか。
 - 2) 事業所に対する、業界や所属団体や地域社会の評判
3. 奉仕の精神を備えているかどうか。
4. 会員としての財政的な義務を果たせるか。
5. 例会に規則正しく出席できるか。

女性会員の選考について

ロータリークラブを職業分類クラブと定義するならば、世の中のあらゆる有用な職業にロータリアンを派遣する必要があるとあり、女性に特有な職業からは女性の会員を入会させる必要が生じてくる。女性であるという理由で入会を拒否することはできないが、親睦を重んじるという社交クラブとしての側面も尊重しなければならないので、会員のコンセンサスを得た上で、クラブ理事会が決定すべきである。

2000年4月25日

手続要覧とロータリー章典

3年に一度、規定審議会が開かれて、そこで立法案の審議が行われます。立法案は制定案と決議案に分かれ、制定案は RI 定款・細則、クラブ定款の改正を意味し、決議案はロータリー運動に対する方向付けとして、理事会に強い影響力を与えます。

新しく制定案(定款・細則)が改正されれば、古い制定案は自動的にその効力を失います。決議案の場合は、新しく決定した決議案の内容が、従来のものの内容と背馳する場合は、当然、古いものが効力を失って、新しく定められたものに置き換わりませんが、そうでない場合は、有効な決議として、ずっと残ることになります。また、相反する決議案であっても、決議 23-34 と決議 92-286 のように共に有効であると但し書きをつけて残される場合もあります。

更に、地区リーダーシップ・プランのように、規定審議会の議を経ずに、理事会が決定する規約も沢山存在し、これを理事会決定と呼んでいます。

手続要覧は、これらの制定案、理事会決議、理事会決定の中から、必要と思われるものを選んで、それを纏めたものです。制定案は RI 定款、RI 細則、クラブ定款として黄色のページに収められ、変更部分にはアンダーラインが引かれています。

理事会決議は(92-286)のようにハイフォンがつけられて表示され、1992年の規定審議会において 286 号議案として決定されたことを表しています。

理事会決定は(98)(62)のように表示されて、それぞれ 1998 年、1962 年の理事会で決定されたことを意味します。

手続要覧こそがロータリアンのバイブルであると信じ、ロータリー活動の座右の銘するように勧める人も多いようですが、手続要覧は決してそんな存在価値を持つ文献ではありません。手続要覧に書かれているこ

とが、ロータリーの規約の全てであると考えerことは大きな間違いで、ここに収録されている規約は、ごく一部に過ぎず、かつその掲載内容の選択も事実上、RI 事務局に任されているというのが現実です。

地区リーダーシップ・プランの導入によって、1998 年版の手続要覧からは、「分区代理」という言葉が一掃されましたが、決して「分区代理」が無くなったわけではなく、規約上には残っているにもかかわらず、単に手続要覧に収録されていないということです。

このように、手続要覧に掲載されていない重要な規約は沢山あり、古い手続要覧を見ると、現在では忘れ去られてしまっている重要な決定事項を、数多く発見することができます。こういった現在でも有効であるにもかかわらず、日常我々が目にすることのない規約を全て纏めたものが「ロータリー章典(Rotary Code of Policy)」です。英文 430 ページの膨大な内容を持っており、近日中に CR-ROM 化される予定ですが、現在のところ邦訳される動きはありません。

ロータリーの規約を詳しくお調べになりたい方は、手続要覧ではなくて、ロータリー章典を活用されるようにお勧めいたします。

2000 年 5 月 23 日

ロータリーと Eメール

つい先日までは、コンピューター・オタクの遊びの手段に過ぎなかった Eメールも着実に市民権を獲得し、今や、欠かすことの出来ない通信手段の一つとなりました。

この傾向はロータリーの社会でも同様で、4・5年前は、WCS や財団や青少年交換などの限られた分野でしか使われていなかったメールが、RI の理事会・委員会、地区との正式な連絡網として定着した感があり、この傾向は今後、地区やクラブに広がっていくものと予測されます。

2000 年度より、デブリン会長エレクトの要請に基づいて、各地区にインターネット情報伝達役員 (ICO) を置くことになりました。RI とガバナー間の情報伝達は、Eメールが原則となり、ICO は毎日、RI から送られてくる Eメールを受信して、ガバナーに取り次ぎ、ガバナーからの返信を RI に送ることが義務づけられています。

さらに 5 月 16 日づけの会長エレクトからの通達によると、このネットワークを各クラブ・レベルまで広げて、クラブにも ICO を置き、かつクラブ会長も Eメール・アドレスを RI に登録するように要請しています。

ロータリー・ワールドの 5 月号には、事務局からの連絡事項として、コミュニケーションの流れを簡素化して、スピード化と経費削減を図るために、RI 事務局、理事、管理委員会、委員会、タスク・フォース、地区ガバナーの連絡には、Eメールを積極的に使うことが決定したと記載されています。例外事項として、Eメールの信頼性が低い地域、接続料金が高すぎる地域があげられていますが、これは、言葉の裏を返せば、使えないとか嫌いだという理由は通らないということであり、当惑されている方も多いと思います。

日本人ロータリアンの Eメール・アドレスの所持率は極めて低く、全

体では 20-30%程度ではないかと予測されます。2000 年度から 20 のタスク・フォースが設けられ、世界 34 ゾーンから 1-2 名の比較的若い年度のパスト・ガバナーがコーディネーターとして、合計約 1,000 名任命されていますが、日本(1-4 ゾーン)から任命された 98 名中、アドレス所有者 41 名(41.8%)に比べて、アメリカ(23-34 ゾーン)は 355 名中 330 名(93%)、カナダ(22 ゾーン)は 100%と、極めて高いのが世界の現状です。

E-メールは通信手段の一つであり、万年筆を使うか、キーボードを使うかの選択に過ぎません。コンピューターの専門知識など全く必要は無く、幾つかの簡単な約束事だけを覚えれば、小学校の 1 年生でも、チンパンジーの花子にでも扱える代物なのです。マイカーを扱うより、何十倍も簡単なキーボードにもっと親しんでもらいたいものです。

E-メールを快適にやり取りするための十ヶ条を思いつくままに並べてみました。

- メール・アドレスを公開することは、メールを常用することを宣言することです。一週間ぶりに開けたのでという言い訳は通用しません。1 日 1 回は必ずチェックしましょう。できれば、朝夕 2 回チェックすれば安心です。
- 秘書や事務員に送受信させるというケースも多いようですが、私信をあつかうのですから、なるべく本人が処理するように心がけましょう。
- メーリングリストを利用することは、特定多数の人にメールが届くことを意味します。特定の個人に対するメールはメーリングリストを使わずに、個人のアドレスに送るように心がけましょう。
- お互いに忙しい身体ですから、必要な用件のみを簡潔に伝えるように心がけましょう。読む人も書く人と同じくらのエネルギーと時間を消耗するのです。
- メールを読んだら、その場で返信を書くように習慣づけましょう。

- 長文のドキュメントやフォーマットが定められた文章は、添付文書として送る方が処理しやすいと思います。
- 添付文書を送るときには、その文書のウイルス感染が絶対無いことを確認した上で、送ってください。アンチ・ウイルスのプログラムを活用しましょう。
- 知らない人から来たメールの添付文書は絶対に開かず、直ちに削除するように習慣づけましょう。ウイルスの感染を防ぐためです。
- 文書にはテキストと **html** の 2 種類があります。テキストを使うのが原則ですが、初期設定のままで使っている初心者は **html** になります。やかましく注意して、初心者拒否反応を起こさせるよりも、ベテランが初心者に合わせてあげる優しさも必要です。
- やり始めた当初は面白く、写真やアニメや音楽を入れてメールを送る人も結構多いようですが、受け取る側が非常に迷惑に感じる場合があります。あくまでも、通信の手段と考えてシンプルに徹する方がいいと思います。

2000年5月30日

職業奉仕実践方法の再構築

ロータリーの会員が減りつづけています。経済不況や高い会費のせいにする人もいますが、会費も安く、空前の好景気に沸くアメリカにおいても同様の現象がみられることから、理由はそんなに単純なものではありません。

ロータリーに対する魅力がなくなった、ロータリーに入っているメリットがなくなったと感じる会員が、不況を表向きの理由にして、ロータリーを離れていくような気がしてなりません。そうはさせじと、メイクアップの期間を延長したり、出席規定を緩めたりして、これに迎合することで、今度は良質の会員を失っていくという悪循環を繰り返しているのではないのでしょうか。

人道主義に基づく奉仕活動は素晴らしいことだと思いますし、この活動に反対する意図は毛頭ありません。そこに飢える人や病める人がいれば、それを助けることは当然のことですし、金銭による奉仕も、マンパワーによる奉仕も必要だと思います。ただし、一つだけ言えることは、こういったボランティア精神に基づいた奉仕活動は、ロータリーだけが行っている奉仕活動ではなく、更に言えば、ボランティア活動を目的とした組織は星の数ほどあるということです。

ボランティア活動をするためにロータリーに入るのなら、むしろ専門的な活動をしている NGO に入って、**I serve** か **We serve** に悩むこともなく、気兼ねなく募金活動をして、団体的な奉仕活動をする方が効果的です。ロータリーがあれだけ激論を闘わして実施したポリオ・プラスにしても、総予算の 20% を捻出するのがやっとですし、一般の人たちの目には、**WHO** が実施した事業としか評価されていないことは、残念でなりません。海外青年協力隊のホームページを見ると、**WHO** と各国政府が資金を調達し、実施は海外青年協力隊や地元のボランティアなどが中心になって行ったと書かれており、ロータリーの名は一切出てきません。

以上の理由から、ロータリーが行っているボランティア活動の成果や意義をいくら説いても、それが会員増強や退会防止に効果的に機能するとは思えないのです。

デブリン会長エレクトは、退会防止タスク・フォースのディスカッション・フォーラムの中で、「ロータリアンは **Benefit** を求めて例会に参加しているのだ」と述べています。私も、ロータリー・クラブがロータリアンに **Benefit** を与えることこそ、会員を増やし、退会を防止する唯一の手段であると思います。

ロータリーの金看板が「職業奉仕」にあることに異論を述べる人はいないでしょう。クラブ例会における職業上の発想の交換がロータリアンに大きな **Benefit** をもたらし、一般社会に大きな恩恵を及ぼしながら認知されて、現在の姿に成長してきた事実を、忘れてはなりません。

アーサー・シェルドンの発想に端を発した職業奉仕の理念は、1916年のガイ・ガンディカーによる「ロータリー通解」発行で完成したと言われています。

当時の職業奉仕の実践の偉大さは、無秩序な商習慣や地に堕ちていた職業道徳を、マフィアと正面から対決しながら、普遍的な法律として世界各国が採用するまでのものに高めていったことにあります。「世に有用な職業」という表現は、「世に有害な職業」を営んでいたマフィアを意識した表現であり、シカゴ・クラブの元会長が代々防犯協会の会長に就任して、マフィア対策をしたことが文献に記載されています。

更に、ロータリー道徳律を各企業の道徳律として導入する作業を積極的に勧めて、ロータリーが提唱する職業奉仕を忠実に実践すれば、必ず自分の職業が持続的に発展することを、世界大恐慌に際して実証したことにあります。

ロータリーの金看板である職業奉仕によって、会員に大きな **Benefit** を与え、一般社会に大きく貢献したからこそ、ロータリーが大向こうの喝采を浴び、大きく成長したことを忘れてはなりません。

RI 組織の中核を担うべき職業奉仕委員会は 1947 年に廃止され、その後 1987 年に復活したものの、職業奉仕の新声明をだただけで、その後これと言った活動をした形跡もありません。さらにここ何年かの RI 会長の運営方針の中からも職業奉仕の言葉が見当たらないのは非常に残念なことです。

21 世紀を目前にして、産業構造は大きく変わろうとしています。第一次産業、第二次産業が衰退し、これに代わって第三次産業の情報通信や金融が大きく膨らみ、更に、職業観も変化し、自分の事業を守るために職種を転換せざるを得ない傾向が強まって、職業奉仕の原点である一人一業種制度を維持することが事実上困難になってくるに違いありません。

ロータリーが構築した職業奉仕実践方法を忠実に遵守すれば、この急激な事態の変化にも対応できるのか、それとも、新しい実践方法に転換する必要があるのか、今こそ真剣に考えなければなりません。

この重大な時期に直面しながら、いたずらに、ボランティア活動のみに専念するのではなく、先達の努力を見習って、ロータリアンに **Benefit** を与え、一般社会に大きく貢献できる、21 世紀に通用する新しい職業奉仕実践方法を再構築することこそ、ロータリーが他の団体と一線を画して発展する道であると信じています。

2000 年 6 月 12 日

委員会の名称

殆どのクラブの委員会構成は次のようなものだと思います。

クラブ奉仕委員会

出席委員会、クラブ 会報委員会、親睦活動委員会、雑誌委員会
会員選考委員会、会員増強委員会、プログラム委員会、
広報委員会、職業分類委員会、ロータリー情報委員会
唱歌委員会

職業奉仕委員会

社会奉仕委員会

新世代(青少年)委員会、インターアクト委員会
ローターアクト委員会、ライラ委員会

国際奉仕委員会

世界社会奉仕委員会、国際青少年交換委員会
ロータリー財団委員会、米山奨学委員会

委員会構成はクラブ細則によって定められるものであり、各クラブは自治権を最大限生かして、自分のクラブに最適な委員会構成を図らなければなりません。推奨クラブ細則は、200名規模のクラブを想定した委員会構成になっているので、必ずしもすべてのクラブに当てはまるものではありません。

委員会活動を活性化するためには、複数の委員会の委員を兼任するよりも、ひとつの委員会専任の方が好ましいので、小規模のクラブでは特に委員会数を減らす必要があります。一方、大規模なクラブでは、数多くの小委員会を編成することも可能です。

会員の人数や地域の特殊性を考えながら、委員会を統廃合したり新設すべきであり、R I から特別な目的を持った委員会を作るように要請されたとしても、必ずしもこれに従う必要はありません。推奨細則に例示

されていなくても、自らのクラブに必要なと思えば、新しい委員会をどしどし作るべきです。委員会構成はクラブ自治権の範疇にあることを忘れてはなりません。

RIBI(イギリス・アイルランド)の推奨細則は、次のような委員会構成になっています。

職業奉仕委員会

クラブ奉仕委員会

職業分類委員会、会員増強委員会、親睦委員会

プログラム委員会、情報委員会、広報委員会、出席委員会

スポーツ委員会、娯楽委員会、家庭委員会

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

ロータリー財団委員会

ローターアクト委員会

インターアクト委員会

青少年交換委員会

クラブ奉仕委員会の中に、我々にもおなじみの委員会以外に、スポーツ委員会、娯楽委員会、家庭委員会を設けたり、ローターアクト委員会、インターアクト委員会、青少年交換委員会が委員長を理事とする常任委員会であることが特徴的です。

この委員会構成から、クラブ内の親睦を図ることと、リクリエーションを通じた親睦活動をはっきり分けていることや、ローターアクト、インターアクト、青少年交換等の青少年活動を重視していることが判ります。

すべてのロータリークラブの原点であるシカゴクラブの委員会構成を創立時にさかのぼって調べると、出席、職業分類などの一般的な委員

会以外に、ロータリー史誌編纂、倫理、企業経営、決議、産業、広報拡大、連合公衆便所建設、市民、身体障害児、教育、青少年週間、職業推進、職業秩序、原理教育、国家、目標設定、調査、入会、ロータリー解釈、戦争奉仕、国防、戦争活動、シカゴ功労賞、リクリエーション、大都市圏、ラウンドテーブル、ロータリー問題、サンシャイン、救援、慈善救援等の委員会名を見ることができて、極めて多彩な委員会活動が行われていたことが判ります。

皆さま方のクラブでも、特異的な活動を表すユニークな委員会を作られてはどうですか。

2000年6月27日

趣味・職業別親睦活動グループの結成

共通の趣味や職業を通じて国際親睦を図るために、親睦グループに参加するよう奨励されており、その情報提供は専ら地区の仕事とされています。地区には、地区内クラブ間の親睦活動、他地区の同種の活動との交流、関連のある国際親睦活動を担当する、委員長と少なくとも3名の委員から成る、地区親睦活動委員会を設置するよう推奨されています。現在、この委員会を地区レベルで設置しているのは、日本25地区の中で僅か6地区に過ぎないことは非常に残念なことです。

さて、この趣味・職業別親睦活動(RRVF)グループに入会するには次の方法があります。

1. 日本に本部または支部がある場合

直接、本部や支部に資料や入会申込書を請求してください。

現在日本に本部や支部を置いている親睦グループは次の通りです。

☆ ロータリー囲碁同好会 GPFR (Go Playing Fellowship of Rotarians) 本部

〒659-0092 芦屋市大原町10-1 ホテル竹園芦屋

TEL.0797-31-2341 FAX.0797-23-2656

☆ ロータリーの歴史と伝統の会 RHHIF(Rotary History & Heritage Int. Fellowship) 日本支部

〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル5F

TEL.001-231-1297 FAX.011-222-2744

☆ アマチュア無線 ROAR Japan 日本支部

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-5-2 東放学園内

TEL.03-3378-7661 FAX.03-3378-7671

☆ ゴルフ JGFR (Japan Golf Fellowships Rotarians) 連

絡先：東京新南RC (斉藤茂之)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-5-2 東放学園内

TEL.03-3378-7661 FAX.03-3378-7671

☆ 飛行 JRAS (Japan Rotarian Aviation Society)

連絡先：御坊RC (古久保恭一)

〒644-0002 和歌山県御坊市菌377

TEL.0738-22-6955 FAX.0738-22-6957

☆ バードウォッチング IFBR Japan (Int. Fellowship of Birdwatching Rotarians)

連絡先：横浜港南台RC (袖山英明)

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町598 ユーモアハットクラブ

TEL.045-862-3856 FAX.045-871-3104

☆ 切手蒐集 Rotary on Stamps

連絡先：東京江北RC (飯塚悟朗)

〒101-0024 東京都千代田区神田泉町1-11

TEL.03-3862-0791

2. 外国に本部がある場合

直接、その親睦グループと連絡を取るか、地区を経由して入会の申し込みをします。

ROTI のウェブ・サイト <http://www.roti.org/fellowships/list.htm> を利用すれば、すべての親睦グループの情報が分かり、さらに入会申し込みが簡単にできます。

日本に会員が多くいるばあいには、その親睦グループの本部に申し入れて、日本支部を作ることも可能です。

3. 希望する親睦グループがない場合

ぜひ、新しい親睦グループを作ってください。

国際ロータリーの認証を得ようとする趣味・職業別親睦活動グループは、次の基準に合致したうえ、RI 親睦活動委員会と RI 理事会の承認を受けなければなりません。

1) 十分な会員数を有し、少なくとも3ヶ国のロータリアンが入会

し、趣味あるいは職業に関する有益な活動において、共通の趣味を抱くロータリアンのグループであること：

- 2) 少なくとも 3 カ国 3 地区のガバナーの承認を得ること；
- 3) 会長または委員長と少なくとも 2 人の他の役員がいること、そして、その責任者は、RI の親睦活動委員会の特別委員を務める意思と能力がなければならないこと；
- 4) 財政的にも管理的にも、また、その他の点においても自立していること；
- 5) ロータリーの既定方針に従って構成されて活動すること；
- 6) 財政的、営利的、あるいは、政治的な目標を表明もしくは意図せず、もっぱらロータリアン間の交友と親睦を増進することを目的とし、かつ、その目的を遂行する機会を提供するものであること；
- 7) 共通の趣味をもつ有資格のロータリアンとその配偶者であれば入会できるという国際性のあること。各会員は進んで文通と協同活動を行うことを誓約すること；
- 8) 会員名簿を毎年改訂、整備して出版し、RI 事務局に送付すること；
- 9) 当該親睦グループの会費を納めた会員が相互交流する場を毎年組織すること。このような場とは、親睦グループの全メンバーにニュースレターを送付することか、親睦グループのメンバーの年次会合か、あるいは、親睦にふさわしい他の活動のいずれかの形態をとる。さらに、ニュースレターや親睦グループに関するその他の重要な配布物を 1 部 RI 事務局に送付すること。
- 10) 会員および会員希望者、さらに RI 事務局から問い合わせがあれば必ず答えること。RI 事務局と 2 年間、連絡を断つとその親睦グループの認証は取り消されること。
- 11) いかなる国においても当該国の法律に違反して、存在したり、

あるいは、活動してはならないこと:

- 12) RI が当該グループの存在を認めることは、そのグループが、RI の趣味・職業別親睦活動プログラムに参加している他の親睦グループと、活動の推進に協力する点であって、RI、あるいは、RI のいずれの地区、もしくはロータリー・クラブも、そのグループのために法的、財政的、あるいは、その他の義務もしくは責任を負うものではないということを理解し、かつ、了承すること;
- 13) プログラム内の特定の趣味別または職業別分野を代表する既存の親睦活動と重複しないこと。

要するに、3ヶ国以上のロータリアンを集めて英文による会員名簿を作り、申請書に3カ国3地区のガバナーのサインをもらい、役員名簿と定款(何れも英文)をつけて申請すれば、RI 親睦活動委員会と RI 理事会の議を経て承認されます。

私が日本で始めて作ったロータリー囲碁同好会は、韓国、台湾、日本の3ヶ国間と RI 本部との書類のやり取りで、若干時間はかかりましたが、2000年2月の理事会で正式認証を受けることができました。

野球とか麻雀とか、ぜひ近隣諸国のロータリアンを巻き込んで、新しい親睦グループを作ってみてください。

2000年7月10日

追記

趣味・職業別親睦活動 (RRVF) は2002年1月より、医療関係のボランティア活動に関心を持つグループが加わって、ロータリー親睦活動 Rotary Fellowship (RF) と改正され、さらに2007年より、グローバル・ネットワークに統一されました。

趣味・職業別親睦活動へのお誘い

国際大会のメインは本会議であることは当然ですが、世界中のロータリアンが親睦の実をあげるために集う「友愛の家」の存在価値を忘れてはなりません。その「友愛の家」の中で中心となるものが、ロータリー財団や世界社会奉仕などの RI プロジェクトのワークショップと、趣味・職業別親睦活動(RRVF)と、ロータリー用品販売のブースであり、どの国際大会でも、ひっきりなしにロータリアンが訪れて、活況を呈していることは、国際大会に参加されたことのある人ならお判りになるはずです。

私は、RRVF の「歴史と伝統の会」本部理事、アマチュア無線会員、私がこの 2 月に創立した囲碁同好会会長をしております関係上、ほとんどの国際大会には参加して、ブースの設営と運営のお手伝いを続けてきました。しかし、「歴史と伝統の会」「アマチュア無線」を除いては、日本人ロータリアンが世話をしているブースはゼロに等しいのが現状です。

デブリン会長はサンアントニオ大会では RRVF のブースを 50 設置するといっていますが、このブース設営と運営に協力する日本のロータリアンは皆無に近いと思います。

更に 2004 年には関西国際大会が開催されます。当然のこととして RRVF のブース設営と維持は日本のロータリアンに懸かってくるはずですが、これに協力する同好会の会員が何人いるのでしょうか。今のうちに日本のロータリアンの RRVF に対する関心を深めて、もっと多くの同好会に入ってもらわなければ、大会の花とも言える RRVF ブースの運営を巡って、世界各国の笑いものになる事態は避けられないのではないかと、心配しております。

クラブ・レベルの親睦活動には非常に熱心なのに、国際レベルの親睦活動である RRVF に参加する日本のロータリアンが、非常に少ないのは、何故でしょうか。

- **RRVF** が国際奉仕活動の主目的であるという認識の欠如。
国際奉仕の元来の目的が、「ロータリーの綱領」の中で「全世界のロータリアンの親睦と相互理解によって世界の平和を目指す」と定められているにもかかわらず、国際奉仕活動が援助活動に偏った結果、会員同士の国際的な親睦が軽視しているのではないのでしょうか。
- 各地区における **RRVF** の関心の希薄。
皆さまの地区には **RRVF** 委員会があつて、国際レベルの同好会活動について、情報提供をしているのでしょうか。実は、3 名以上の委員で構成された地区 **RRVF** 委員会を設置するように定められているにもかかわらず、35 地区中僅か 6 地区しか地区 **RRVF** 委員会を持っていないのです。
殆どの地区では、**RRVF** に関する情報を、クラブや会員に伝えていないので、こういった国際的な同好会組織が存在すること自体を知る機会がないこととなります。
- 殆どの同好会の本部が日本以外にあり、その情報が殆ど英語で提供されること。
現在、日本に本部がある **RRVF** は「囲碁」、支部を持っているのが「アマチュア無線」「歴史と伝統の会」「ヨット」位のもので、それ以外の **RRVF** は日本支部もなく、日本語によるニュースレターも発行していません。外国にある **RRVF** の同好会に個人的に入って、外国語のニュースレターを送っても、会員にあまりメリットはありません。

そこで、正式な **RRVF** が設立されているにもかかわらず、それに加盟せずに国内だけで活動している各種の同好会を、正規の **RRVF** の日本支部として正式に承認してもらうことや、**RRVF** が設立されていない「野球」「麻雀」「俳句」などを、近隣諸国に働きかけて新たな同好会を設立して、新しい **RRVF** を設立することも考える必要があると思います。

なお、正規の RRVF として認可されるには、3 地区、3 ケ国のガバナーの承認と、RI の RRVF 委員会、RI 理事会の承認が必要です。

2000 年 8 月 1 日

追記

趣味・職業別親睦活動 (RRVF) は 2002 年 1 月より、医療関係のボランティア活動に関心を持つグループが加わって、ロータリー親睦活動 Rotary Fellowship (RF) と改正され、さらに 2007 年より、グローバル・ネットワークに統一されました。

WCS 活動の留意点

人道主義に基づく奉仕活動が、ロータリーの奉仕活動の主流になり、且つその活動の中心はマッチング・グラントを適用した WCS になってきました。年 2 回発行される WCS プロジェクト一覧表を見ると、自分達だけの奉仕活動では金銭的にも、マンパワーの上でもどうにもならなくなった発展途上国のロータリークラブから寄せられた、おびただしい数の援助要請が収録されており、その需要がいかにも多いかがわかります。

WCS を失敗しないで、かつ効果的に実施するためのアドバイスを述べてみたいと思います。

- ☆ 提唱側(援助側)、受領側(実施側)は共にロータリークラブまたは地区であること

現地のクラブまたは地区が現実に実施しているロータリーの社会奉仕活動に、外国の地区やクラブが経済的援助をするのが WCS ですから、双方のロータリーの介在が前提条件になります。相手がロータリー以外の組織、ロータリアン個人の場合は、厳密には WCS ではなく、マッチング・グラントも認められません。

- ☆ プロジェクトの確認

そのプロジェクトがその地域において本当に必要なプロジェクトかどうかを確認する必要があります。

日本を絶好の援助国と見て、毎日のように数多くの援助要請が寄せられています。別のクラブが日本から援助を貰ったので、うちのクラブも貰わなければ、といったものもあり、その傾向は、援助を受けることが日常化している国で強いようです。中には単なるおねだりのようなものや、下手な鉄砲も数撃ちゃ当たる式のもの、更にはロータリアンにあるまじき詐欺のようなものさえ含まれています。従って、本当に必要な WCS なのかを十分に事前調査することが必要です。

- 現地の地区や近隣クラブ、大使館、JICA 等を通じて、そのプロジェクトの必要性や概要を調べてもらう。
- 既にその国で活動している他のクラブや地区を通じて情報を収集する。
- 現地に行って、プロジェクトの必要性や現地クラブのプロジェクトに対する取り組み方を調査する。東南アジアの国ならば、10 万円も出せば渡航費用はまかなえますから、これが一番確実な方法です。既に現地で活動している他のクラブや地区のミッションに同行するのも一つの方法です。なお、この調査旅行の補助金としてカール・ミラー補助金がありますから大いに利用すべきです。

★ WCS として正式に申請し、かつマッチング・グラントを利用すること。

- WCS として登録されていないプロジェクトでも、新たに登録することが可能です。
- 正式な WCS プロジェクトなら、マッチング・グラントの対象となりますし、受領側に使途や会計報告の義務が生じるので安心感があります。
- RI を介して送金すれば、安全で確実です。
- マッチング・グラント制度を採用すれば資金が倍増します。(恒久的な建築物や人件費はマッチング・グラントの対象にはなりません。)
- 地区活動資金 DDF を積極的に活用すべきです。
- 有効な同額補助金活用例

クラブ資金	2,000 ドル
地区資金	2,000 ドル
マッチング・グラント	3,000 ドル
合計	7,000 ドル

即ち、2,000 ドルのクラブの資金が、地区資金およびマッチング・グラントを利用することによって、7,000 ドルに増やすことができます。

す。

☆ 物品を寄贈する場合は、現地調達を原則にすること。

- 通関、運賃に思わぬ金額がかかることがあります。200%の関税がかかる国や公然と賄賂を要求する国もあります。港がなく、内陸部にある国では、びっくりするような運送費を請求される場合もあります。
- 現地で確実に使える品物が購入できません。過去に、多くの寄贈物が、電圧の違い、各種規格の違いで無駄になっています。
- 途中で消えてしまうこともあります。
- 現地調達をすることによって、結果的に現地の人を潤す配慮も必要です。

2000年8月7日

One Rotary Center を訊ねて

シカゴのループ（ダウン・タウン）からレークショア・ドライブを 20 キロほど北上すると、エバンストンに入る。ワン・ロータリー・センターはこの町のシャーマン通り 1560 にあり、地下鉄およびユニオン・パシフィックのエバンストン駅のすぐそばである。

18 階建てのビルの 13 階から上を使用し、後はテナントを入居させて収益をあげている。

ミシガン湖を一望に見下ろす 18 階に会長室がある。部屋の扉は常に開かれてして、会長の在不在にかかわらず、ここを訪れる者は誰でもこの部屋に立ち入ることができる。会長は極めて多忙なためほとんど会えるチャンスはないと聞いていたが、この日（2000 年 8 月 28 日）はたまたま財団管理委員会が開かれており、それもちょうど休憩中だったので在室しており、数分話をする機会を得ることができた。私が関与しているロータリー・ジャパン・ウェブと R R V F の話をする、コンピューターによる情報伝達とロータリアンのフェローシップは共に重要な事柄なので頑張ってもらいたいと激励してくれた。一緒に写真を撮ろうと長身を屈めてくれるユーモアの持ち主でもある。

会長室を辞して廊下に出たとたんジアイ元会長とばったり出会った。私がガバナーの時の RI 会長でしょっちゅうお会いしている仲であり、2 ケ月前もブエノスアイレスで食事を共にしたばかりである。セリア夫人もお元気とのこと、この 12 月に東京のロータリー研究会での再会を約して別れる。

会長室の隣にある理事会室では、ビル・ハントレー元会長と一緒に写真を撮ることができたし、フタ事務総長も執務室に在室しており、私の顔を見るなり、ブエノスアイレスでの思い出話になった。私もこれをいい機会に、日本における今後の情報伝達手段の中核ともなるロータリー・ジャパン・ウェブの存在価値を P R すると共に、R I の責任として、

各国語による情報伝達機能を速やかに確立してほしいと要望した。

会長エレクトは不在で、会うことができなかったのが残念だった。

エレベーターの真向かいには壁一面に歯車状の抽象的な彫刻が施されている。てっきりロータリーの歯車をモディファイしたものだと思っていたら、このビルの以前の所有者が医療器械の会社で、体外受精を抽象化した図案であり、これが中央のロータリーのマークと奇妙にマッチしているのが面白い。

この階と 17 階は吹き抜けになっていて、「榮譽の殿堂」と呼ばれており、歴代 RI 会長の写真や 1935 年に日本を訪問した際に贈呈されたポール・ハリスのブロンズの彫刻が飾られている。

17 階は全フロアがロータリー財団関係の部署であり、エレベーター前のホールには、歴代のロータリー国際理解賞の受賞者のパネルが飾られ、前述の「榮譽の殿堂」には財団管理委員や大口寄付者の写真が掲げられている。

16 階のエレベーターを降りると、ポール・ハリスの等身大の銅像が、ここを訪れるロータリアンに握手を求めながら迎えてくれる。少しくすんだ金色で、1935 年に日本を訪れた際寄贈された胸像を基に作られたものである。その隣には、かつての会長執務室がスモール・スケールながら再現されている。ポール・ハリスが愛用した机や椅子や調度品が生存当時のまま並べられており、そのすべてが、世界中のロータリアンからポールに贈られたものである。

その隣には、1905 年 2 月 23 日に最初の例会が開かれた、ガスターバス・ロアの事務所が完全に復元されている。もともとディアボーン街 127E ユニティ・ビル 711 号室であったが、1989 年にユニティ・ビルの取り壊しの際に、711 クラブ(ロータリー歴史と伝統の会)が中心となって保存し、1994 年に復元したものである。「711」「ガスターバス・ロア」と書かれた真鍮の標識がついた樞のドアや照明器具や暖房装置、謄写版、蓄音機、電話等すべてが当時のものであり、部屋の壁もそのままの色で

塗装されている。なお、711 クラブはマウント・ホープにあるホール・ハリスの墓地の整備にも尽力している。

15 階はヘッド・クォーターの事務局であり、各部局毎、各国毎にセクションが分けられている。従来は日本サービスセンターでも翻訳作業をしていたが、現在はここのスタッフが一元的に翻訳を行っている。ウェブ・サイトについても、主要国語については専属の翻訳スタッフによる RI 指定記事が提供される予定とのことである。

13 階には資料室がある。直接書庫に入って文献を探すことはできないが、欲しい文献や著者を言えば、係員がコンピューターで検索してくれ、現物の閲覧やコピー・サービスを受けることができる。閲覧室にはポール・ハリスの肖像画と共に、ポールが 70 の手習いで始めたという風景画がかけられている。

アーサー・シェルドンに関する文献が欲しいというと、何回かの問答の結果、**Golden Strand** の本が出てきたので、その本は既に私が日本語に翻訳済みであると告げた。いろいろ検索してくれた結局、全米ロータリークラブ連合会の第 1 回、第 2 回大会議事録から、シェルドンのスピーチの全文を手に入れることができた。日本では、部分的には紹介されているが、おそらく全文が紹介されたことはないと思われるので、極めて貴重な文献である。

手続要覧の古いバージョンを探してもらったが、古いものがなかなか見当たらず、ひょっとしたら倉庫にあるかもしれないということで、14 階の倉庫に案内してもらった。ここにはまだコンピューターで管理されていない文献が広い部屋にびっしり収納されており、その中から現存する最も古い 1926 年発行の手続要覧を発見することができた。コピーを頼んだところ、10 冊ほど重複して保存しているので、記念に差し上げますということで現物を戴くことができた。

2 日間の慌しい滞在であったが、大きな収穫のあった訪問であった。ここを訪れるロータリアンは 1 月に 1,2 名しかないとのことである。も

っと多くのロータリアンがここを訪れて、宝の山に埋もれている貴重なロータリーの財産を活用すべきであることを痛感した。

2000年9月4日

ロータリーとマフィア

1911年にシェルドンが **He profits most who serves best** というロータリー哲学を発表し、1915年の道德律制定、翌16年のサンフランシスコ大会において、道德律が収録されたガイ・ガンディカーの「ロータリー通解」の全員配布によって、職業奉仕理念は完成したと考えられます。

このようにして定められた職業奉仕の理念は、1916年頃から、ロータリアンが経営する事業所に「道德律」を適用するという形でその実践が始まっていきます。

プロフィットを周りの人たちとシェアするというロータリーが提唱した職業奉仕の理念を実践に移すことによって、ロータリアンが自らの体質を改善して、その事業を隆盛に導き、さらに世に有用な職業を尊重し、自らの職業を通じて社会に貢献し、業界の職業倫理の高揚を求めていったことは、ロータリアンは当然のことながら、一般社会の人たちも大きな尊敬と賞賛を与えたことは明らかです。

当時のロータリー運動は、ロータリー運動の中心である職業奉仕の実践によって、ロータリアンと一般社会の人々双方に大きなメリットを与えました。従って退会を考えるロータリアンはいらざるもないし、入会を希望する候補者が殺到したのです。

ロータリーが一般大衆から尊敬の念で見られるようになったバック・グラウンドとして、当時シカゴに台頭したマフィアと互角に闘ったことを否定することはできません。

1899年にブルックリンで生まれたアル・カポネは、10代半ばでニューヨーク・マフィアのチンピラとなり、1910年頃からシカゴで勢力を伸ばしつつあったジョニー・トリオの片腕となったのは1919年、彼が20歳の時でした。1920年禁酒法施行と共に、マフィアは大きく勢力を伸ばしていきます。

世に有用な職業を前提として職業奉仕理念を実践に移そうとするロ

ーターと、世に有害な職業を前提とするマフィアが、ここで真正面から対立するわけです。

ロータリーの古い文献を調べると、これに関する幾つかの記述を見ることが出来ます。

ロータリアンの眼鏡商を証人として出廷させて、遺留品の眼鏡からマフィアの大物を逮捕するきっかけをつくったり、シカゴ・クラブ元会長ローシュ大佐をシカゴ市防犯委員長に任命して、マフィアとグルであった警察を徹底的に粛清したり、シカゴ市の犯罪防止におおきく貢献したという記録が残っています。

連邦警察もエリオット・ネスを隊長とする特殊部隊を投入して、ついに 1931 年に所得税法違反でカポネを逮捕し、翌年実刑 11 年の判決を受けて、アル・カトラスに収監されたことは、アンタッチャブルでおなじみの話です。

ちなみに、カポネは若いときに感染した梅毒が悪化したため刑期半ばで釈放されたもののフロリダで廃人同様の生活を送り、1947 年に 48 歳でこの世を去ります。奇きしくもポール・ハリスの逝去と同じ年でした。

2000 年 9 月 12 日

I T革命とロータリー

I Tが **Information Technology** の略語だということを知らなかったどこかの国の総理大臣が、I T革命のことをイット革命と発音して失笑を駆ったのはつい先日のことでしたが、最近では鳥の鳴かない日があってもI Tの文字を目にしない日は無いほどのポピュラーな言葉になってしまいました。

子供の遊び、若い人の一時的な流行だと考えて、あえてそんなものには迎合しないことを心に決めてきたeメールやインターネットが、何時の間にか市民権を得たばかりではなく、事業や日常生活、さらにはロータリーの世界までも、標準的な通信手段に成長してしまったことに対するとまどいは、極めて大きいようです。

特にロータリーでは、ロータリーことなど全く判っていないはずの若い会員が自由にコンピューターを操って、どんどん新しい情報を得ているにも関わらず、ロータリーの全てを熟知していることを自他共に認めている日本の指導者の殆どが、これを操れないばかりに情報音痴になりつつあるという逆転現象が訪れていることもまた、事実です。

しかし、これに反して、外国のロータリーの指導者たちは、抵抗無くI Tを駆使しているようです。

デブリン会長は 20 のタスクフォースを設けて、ゾーン・コーディネーターを任命しております。日本からはちょうど 100 名のゾーン・コーディネーターが任命されていますが、その中でメール・アドレスを持っている方は 45 名、持っていない方は 55 名となっており、所持率 45% です。

ゾーン・コーディネーターを委嘱された方々は、比較的若いパスト・ガバナーですので、メール・アドレスの所持率が 45% となっていますが、パスト・ガバナー全体の所持率は恐らく 20% 以下ではないかと想像されます。なおその中の半数近くは、会社名義のアドレスであって、その操

作は職員に任されているというのが現状ではないでしょうか。

これに反して日本以外のゾーンでは、殆どのパスト・ガバナーがメール・アドレスを持っており、特に 8(オーストラリア・NZ)、21、22、26、27、30、31(USA)ゾーンは全員が持っています。

一般の会員のパソコン使用率も、2680 地区では 30%という数字がでていますが、この中でメールやインターネットを活用している会員の大部分は若い会員で、クラブの指導者層の利用率は、パスト・ガバナーより低いのではないかと推測されます。

外国では、一般会員の所持率も指導者層の所持率に準ずるものと推測されます。これが世界の現状です。

僅か一年前までは、RI 理事会または事務局から発信された情報は、日本サービスセンターへ届けられ、ここで翻訳作業を経て、ガバナーに伝えられ、更にガバナーから直接文書や月信でクラブ会長に伝えられ、さらにそれが会員に伝えられていました。

この複雑な過程を踏むために、末端の会員まで情報が達するのは 1・2 ヶ月かかり、「ロータリーの友」を通じて情報を得ようと思えば、3 ヶ月以上を要しました。そして、この過程を踏む情報伝達は、いわば上意下達ですから、一般会員よりも指導者の方が先に、かつ詳しい情報を知り得ることが可能でした。

しかし、昨年 7 月、デブリン会長がエレクトに就任以来、積極的に IT 革命に取り組んだ結果、この情報伝達ルートが徐々に変化し、更に今年の 7 月からは抜本的に変化してしまっただけです。

RI から発信される情報は、①RI のウェブ・サイト、②デブリン会長のウェブ・サイト、③メールによって、直接に会員に届けられます。メールだけは直接指導者に届けられますが、その内容は同時にウェブ・サイトでも公開されますから、パソコンを操る全ての会員は、直ちに全ての情報を知ることができます。

従って常時 e メールやインターネットにアクセスして、かつ英語が理

解できない限り、パストガバナーといえども、迅速に情報が伝わらないということになります。

ロータリー理念の理解度、奉仕活動の実践、財団寄付、そのいずれをとっても、日本のロータリーのグレードは極めて高いと思います。しかし、これらの活動や提案を行う手段としてのITに関する関心が薄ければ、その情報を世界に発信することができません。

従来の通信手段をとり続けるならば、時間の遅れというハンディを負いながら、情報を受け取ることはできたとしても、すばやく情報を発信することは不可能なのです。全ての情報がオン・デマンドで流れる中で、2ヶ月遅れの情報に価値を見出す人は誰もいないのです。

ロータリーにおける情報伝達の世界のスタンダードが、インターネットやeメールに変わっているのに、日本のロータリー、特に指導者層がそれに対応できないのは、非常に寂しいことです。そうでなくても語学のハンディキャップで肩身の狭い思いをしている上に、情報のハンディキャップまで負うことはどうしても避けたいものです。

2000年9月26日

ニュー・モデル・クラブ

2001年規定審議会に理事会から提案されるニュー・モデル・クラブの概要をお知らせすると共に、その内容を解説してみたいと思います。

その概要は次の通りです。

- ☆ RI定款・細則・標準クラブ定款に拘束されない、全く独自の定款を採用したクラブを認める。
- ☆ 既存のクラブから移行してもよいし、新しく創立してもよい。
- ☆ パイロット・プロジェクトとして施行する。
- ☆ 全世界で上限200クラブとする。
- ☆ 最長5年間まで継続できる。

例会の出席規定が厳しすぎるために会員の定着率が悪いとか、一人一業種制を廃止すれば多くの会員を入会させることができるという意見が毎回のように規定審議会にだされていますが、常に否決されています。この提案は、規定審議会に諮ることなく、例外規定として任意に定めた定款を持ったクラブを認めようというものです。

RI定款・細則および標準クラブ定款に拘束されない、クラブ独自の定款によって運営することは、クラブの自治権が完全に保証されるという利点がある一方で、クラブ側にロータリークラブとしての自覚が欠如している場合には、ロータリーとは程遠いクラブが生まれる可能性も否定できません。

会員身分、出席規定、例会等を全て自由に制定することができますから、極端な例ながら、小学生を入会させることも、例会を全く開かないことも、ボランティア活動のみをすることも可能となります。

ボランティア活動一辺倒のRIの方針に反対して、かつての日満ロータリー連合会のような、東洋思想を機軸にしたロータリーや、職業奉仕理念を尊重したロータリーを作るべきだと考えている人も多いようで

す。この提案は、元来、規則を緩めて会員増強を図るために提案されたものですが、それを逆手に利用することも不可能ではありません。ただし、そのような内容の定款を制定したクラブを RI が認めるかどうかは別問題です。

RI が認証を与えるという表現が入っていることから、ロータリーの理念を否定したり、社会正義に反することを定款に定めた場合は、RI がこれを承認しないと思いますが、その場合、RI が何を基準にして承認したり、否決するのかという疑問が生じてきます。

RI 自らが、RI 定款および細則を遵守する義務があるにもかかわらず、これと背馳する規約を持ったクラブを承認するという奇妙なことになります。これは単に第 5 条に例外規定を入れただけでは解決されない問題で、RI が改正をもくろんでいる全ての条文に例外規定をいれる必要があります。

憲法も定款も同じ文字 **Constitution** を使います。国家・国民にとって憲法を遵守することは最大の義務であり、ロータリーにおいても定款を遵守することがロータリアンの最大の義務であることは当然のことです。憲法とは単なる規約ではなく、その国の理念が凝縮されたものであり、定款とはその組織の理念が凝縮されたものです。従って、同じロータリーの組織の中に異なった定款を採用するクラブがあることは、理念の一元性からも許されないことです。

憲法にしる定款にしる、時代の流れの中で変更を余儀なくされる事態が生じるのは当然です。ロータリーでは定款の変更を最大の重要事と考えて、この作業を規定審議会に委ねてきた経緯があります。

今、規定審議会の審議なしに、理事会の裁量権のみで、任意の定款を採択できる特殊なクラブを作るという今回の理事会提案が採択されれば、5 年の施行後、成果が上がったことを理由に、全クラブに強制採用を命じる可能性が、極めて高いのではないかと思います。

200 のクラブが、全クラブに拡大された場合、定款改正は理事会の専

任事項という前例が残って、規定審議会は有名無実の存在になります。提案本文の「要点」に記載されているように、規定審議会が RI の意図するように制定案を改正する可能性が低いので、規定審議会に頼らず、理事会に定款改正権を委ねようという、極めて危険な提案のように思います。

RI から提案された制定案の全文は次の通りです。

ロータリークラブを創立するに当たり、新しいモデルに基づいた試験的プロジェクトを実施する方法

提案：R I 理事会

要約：この提案は、R I 理事会が、より柔軟な定款による、一定数のクラブを認証するというパイロット・プロジェクトを実施することを可能にするものである。R I 理事会は、R I の定款の条文の要件と異なった内容の定款を採用する最高 200 のクラブに認証を与える権限を有する。このプロジェクトは最高 5 年間継続することができる。

争点：ロータリーは変化に順応していかなければならない。会員のニーズの変化に対応できれば、ロータリーは、21 世紀においても繁栄するに違いない。このことは規定審議会において、はっきりと認められた。2001 年の規定審議会が審議するはずの制定案の大部分のみならず、近年、規定審議会が審議してきた制定案の大部分は、クラブ会員身分、出席、および例会出席要件の変更に関する提案である。しかしながら、歴史は、規定審議会が、新しいクラブ・モデルを準備するために必要な複雑な制定案の変更を承認する可能性が少ないことを示している。

この提案は、将来の規定審議会が、パイロット・プロジェクトの結果に基づいて変更を採用することを可能にするものである。クラブ会員身分、出席、および例会出席要件の変更を審議するに当たって、将来の規定審議会はこれらの実験の結果を利用することができる。従って、この提案は、新しいクラブ・モデルに対する道を切り開くことができる。

パイロット・プロジェクトは偉大なる実験の場である。パイロット・プロジェクトを利用することによって、実験的なクラブを作ることができる。ロータリーは、いかに彼らがよく活動できるかを知るために、様々なクラブ・モデルをテストすることが可能になる。

パイロット・プロジェクトは、最高 200 のクラブを巻き込むだけであり、最高 5 年に限られている。このクラブの数とこの期間によって、ロータリーは、多くのクラブ（200 はすべてのクラブの 1%未満に過ぎない）に影響を与えることなく、一時的な実験によって、どの「ニュー・モデル」が最もよいかを決定することができる。介在する規定審議会において、これらの変更が承認されない限り、パイロット・プロジェクトは終結し、実験的なクラブは標準のロータリークラブの規則に復帰する。

制 定 案

ロータリークラブを創立するに当たり、新しいモデルに基づいた試験的プロジェクトを実施する方法

提案者：RI 理事会

国際ロータリーによって制定された R I 定款を、次の通り改正する国際ロータリー定款 第 5 条 会員

第 5 節 例外

本定款もしくは RI 細則の諸規定または標準クラブ定款にもかかわらず、理事会は、試験的プロジェクトとして、クラブの定款の諸規定が R I 定款および細則に合致しないクラブの加盟を承認し、または再編成を許可することができる。この種のクラブはその上限数を 200 とする。この試験的プロジェクトの実施期間は 5 年を上限とする。会員加盟の承認または再編成の許可を得た全てのクラブには、試験的プロジェクトが完結した際の定款が効力を持ち、当該クラブの標準クラブ定款となる。

目的と効果

本制定案は、新設第 5 節を追加することによって、R I 定款第 5 条の改正とする。本制定案は、R I 理事会に、200 のクラブまで、クラブ定款が R I 定款および細則に合致する必要条件を満たさなくても RI に会員加盟を承認しまたは再編成を許可する権限を与える。この試験的プロジェクトの期限は 5 年を越えないこととする。試験的プロジェクトが完結した際、会員加盟の承認または再編成の許可を得た全てクラブは、その際効力を持つ定款を標準ロータリー・クラブ定款とする。

本制定案は、このような試験的プロジェクトの実施に伴う費用およびクラブ数の増加が招く収入増加の可能性によって R I に財政的影響を与える可能性がある。

2000 年 10 月 2 日

ロータリーの二つのモットー

ロータリーには、“**He profits most who serves best**”と“**Service above self**”の二つのモットーがあります。前者はアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱し、1911年にポートランドで開催された第2回全米ロータリークラブ連合会大会で採択されたものであり、後者はベンジャミン・フランクリン・コリンズが提唱した **Service, not self** に後日修正を加えた、ロータリーの公式標語です。

ロータリーではこの二つのモットーをロータリー哲学と位置付けていることは、決議 23-34 の第1条に「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕“**Service above self**”の哲学であり、“**He profits most who serves best**”という実践理論の原理に基づくものである。」と書かれていることから明白です。“**He profits most who serves best**”は、シェルドンのサービス学から導き出された経営哲学であり、ロータリーの職業奉仕を端的に言い表した言葉でもあります。

今日我々が事業上の利益を確保して生活を営むことができるのは、当然、経営者の実力のなせる技ですが、一生懸命働いてくれている従業員、品物を納入してくれる取引業者、下請け業者、顧客、さらには同業者など、自分の事業に関連するすべての人たちのおかげであることを忘れてはなりません。従って、自分が得たプロフィットは自分で独り占めするのではなく、これらの人たちとシェアしながら事業を営めば、必ずその事業は永続的に繁栄していきます。この事業上の姿勢のことをロータリーは職業奉仕と呼んでいるのです。職業奉仕に徹すれば、必ず事業が繁栄することを、自分の職場で実証することによって、業界全体の職業モラルを上げていくことが、職業奉仕の究極の目的になります。

“**He profits most who serves best**”を職業奉仕の哲学だとすれば、

“Service above self”は社会奉仕の哲学とすることができます。世の中に困っている人がいれば、人道主義に基づいたボランティア活動をすべきだという考え方です。

ロータリーの歴史を振り返ると、この二つの異なった考え方が、お互いの優位性を主張しつつも、あるときは反発し、またあるときは調和を保ちながら今日に至ったような気がします。

「有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し」という綱領からも判るように、ロータリーは職業奉仕を目的とする組織であることが明記されている関係上、ロータリアンは職業奉仕に専念して、そこから得た適正なプロフィットによって社会奉仕の原資とすることが、習慣づけられてきましたが、昨今、ロータリー運動がボランティア活動一辺倒になって、職業奉仕が遠く霞んでしまったような感が強いようです。

現在のロータリーの混迷は、綱領に職業奉仕を謳いながら、その実践活動を止め、現実にはボランティア組織としての道を歩んでいるところにあるのではないのでしょうか。

ちなみに、RIの職業奉仕委員会は1947年に廃止され、40年後1987年に復活したものの、その解釈をめぐる論争の種となった「職業奉仕に関する声明」を出した後廃止されたまま、現在に至っています。

2000年10月11日

レストラン協会道德律

1911年、アーサー・フレデリック・シェルドンが *He profits most who serves best* のモットーを提唱後、これを会員の事業所で適用するための具体的な指針として、全分野の職業人に対するロータリー倫理訓、いわゆる道德律が制定され、1916年のサンフランシスコ大会においてこれが収録された「ロータリー通解 *A Talking Knowledge of Rotary*」が全員に配布されたことを以って、職業奉仕理念の提唱は完成したと考えられます。

このようにして開発された職業奉仕の理念は、1916年頃から、ロータリアンが経営する事業所にその道德律を適用するという形でその実践が始まっていきます。

1925年のRIの発表によると、ロータリアンが自ら制定に関与して、正しく実行されている、全世界のロータリアン企業の道德律は145に上ることが報告されています。

ガイ・ガンディカーが作ったレストラン協会の道德律には次のような内容が定められています。

1. 雇用主と従業員との関係

雇用、新入社員対策、昇給の機会、研修、雇用期間、労働条件、解雇、リクリエーション、福利厚生、能力の評価判定、雇用、解雇、賃金、労働時間、休暇、安全規則、省力化対策、健康、若年労働者の福祉対策

就業規則のみならず、現在の労働諸法規が網羅されており、特に若年者の危険作業や、深夜労働が当然だとされていた1920年代にこれが制定されたことは脅威に値するものです。

2. 納入業者との関係・・・納期、支払い条件、リスク負担

3. 同業者との関係・・・公正な競争

4. 業界全体との関係・・・業界全体の職業倫理高揚、同業者組合の結成

5. 一般社会・行政との関係

6. 顧客との関係

この中には、食品の品質管理、代替品の使用禁止、規格化されたメニュー、不当表示や誇大広告の廃止、定価販売、接客態度、チップをくれる客の選り好みの禁止、商品知識、等が詳細に定められています。

当時の世界中のロータリアンが、単に職業奉仕理念の提唱をするだけでなく、自らの職場の中で適用する道徳律を作って、それを実践していったことを忘れてはなりません。そして、公正な自由競争ができる環境を整備し、ロータリアンが自らの事業を伸ばし、なおかつ、一般大衆からも尊敬の念で見られるバック・グラウンドを作っていたのです。

2000年10月17日

ライオンズとは

我々ロータリアンが、何かにつけて対比する奉仕クラブにライオンズ・クラブがありまい。しかし、我々が知っているのは、I serve 対 We serve、毎週の例会 対 隔週の例会、位のものであって、案外詳しい内容は知らないのが現実です。

そこで、今回は、ライオンズ・クラブ国際協会 337 複合地区研修会資料より、ライオンズ・クラブの実態をご紹介してみたいと思います。

ライオンズ・クラブの誕生

ライオンズ・クラブは国際的につながりのある社会奉仕団体で、ライオンズ・クラブ国際協会といますが、誕生地はアメリカです。今から約 80 年前にシカゴに住む若い保険会社員であるメルビン・ジョーンズは、ある事業団に加入して会員としてよく活動していましたが、何か飽きたらないものを感じ、社会のために何か有益な団体として改組できないものかという夢を抱きはじめ、国内の各種団体に呼びかけて、社会奉仕団体として改めることに成功し、1917 年 10 月 8 日から 3 日間、22 の各種の団体の代表者 36 名がダラスに集合して結成大会が開かれ、正式にこの大会において社会奉仕を目的としたライオンズ・クラブ国際協会が発足したのであります。

(注・メルビン・ジョーンズについては、もともとロータリー・クラブに在籍していましたが、金銭的、団体的奉仕活動をするという考え方が受け入れられなかったために、ロータリーを離れてライオンズを作ったという説と、職業分類が充填されていたために、ロータリーに入れなかったのが、ライオンズを作ったという説があります。この解説では、ある事業団に加入していたと記載されており、それがロータリーであったか否かは判りません。)

ライオンズの性格と目的

ライオンズは国境を越えて、世界を一つに結び、人類愛に連なる社会奉仕団体です。その活動は自己の利益をもたらすためのものではありません。また宗教や、政治上の利益を目的としたものでもありません。勿論、単なる社交機関や慈善団体でもありません。

徳性と知性・友愛と寛容の精神を養いつつ、その対価を目的としない純然たる社会奉仕をモットーとした団体であります。即ち **We Serve**“われわれは奉仕する”これが目的です。

(注・ライオンズは職業奉仕団体ではなく、人類愛に基づく社会奉仕団体、すなわちボランティア団体であり、**We serve** を前提に奉仕することが明記されています。)

名 称

ライオンとは勇気・力・誠実・行動を象徴するものであり、りっぱな・強力な・そして勇猛な動物であるというより、偉大な行為・高い理想と言った伝統的な観念を意味するものである。

ライオンズ・クラブの正式の名称は「ライオンズ・クラブ国際協会」と称し、その本部は米国イリノイ州オーク・ブルックに所在する。そして協会のシンボル・マークは、紫の外輪の中央に黄金でライオンズの頭文字 **L** を配し、左右から 2 頭の黄金のライオンの横顔で包囲し、上段に **INTERNATIONAL** と書き込まれている。

ライオンの一頭の横顔は過去の輝かしい歴史を、他の一頭は前途遼遠たるライオンズの未来を見つめていることを語っている。また紫は国家・友人および自己自身・更に自己のよごれなき良心に忠実であることを意味し、金色は清廉な生き方・真筆な志・片寄らない判断・寛大な心を持って人に摸し、物心両面の援助を惜しまないことを意味づけている。そして紫と黄金のライオンズ・カラーは協力と陶冶・啓蒙と呼応および更新を象徴しているものである。

(ロイヤル・ブルーとゴールドがロータリー・カラーであることを考えると、両クラブの対比がおもしろい)

モットー

We serve われわれは 奉仕する

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nations Safety

(自由を守り、知性を重んじわれわれの国の安全をはかる)

Liberty	自 由
Intelligence	知 性
Our	我々の
Nations	国 の
Safety	安 全

(注・Liberty, Intelligence, Our Nations Safety のそれぞれの頭文字を組み合わせると LIONS となります。)

現 況

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. 加盟国または領域 | 182 ケ国 (1999 年 5 月 31 日現在) |
| 世界のクラブ数 | 44,490 |
| 世界の会員数 | 1,436,362 |
| 2. 日本のクラブ数 | 3,317 (1999 年 6 月 30 日現在) |
| 日本の会員数 | 153,455 |

(注・ちなみに同時期におけるロータリーの現況は、1999 年 6 月 30 日現在 164 ケ国、1,193,461 名、29,728 クラブ)

ライオンズ・クラブ国際協会の目的

- ☆ 世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる
- ☆ よい施政とよい公民の原則を高揚する
- ☆ 地域社会の生活・文化・福祉および公德心の向上に積極的関心を示

す

- ☆ 友情・親善・相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる
- ☆ 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党・宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない
- ☆ 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また商業・工業・専門職業・公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める

(注・ロータリーとほぼ似通った目的をあげていますが、職業奉仕に関する思考の欠落と、無償の社会奉仕を強調しているところが、ロータリーと大きく異なっています。)

ライオンズ道徳綱領

- ☆ 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること
- ☆ 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと
- ☆ 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること
- ☆ 世人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること
- ☆ 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心の触れ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと
- ☆ 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること
- ☆ 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと
- ☆ 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけるこ

と

(注・ロータリーの道徳律、または職業宣言に相当するものです。職業奉仕団体を表明していないにもかかわらず、素晴らしい道徳綱領を制定しています。)

ライオンと呼ぶる人

事業を成功に導き、善良な生活を楽しみ、常に微笑をたたえ、人類を愛し、知識人の尊敬を集め、幼児たちに親しまれる人

その地位にふさわしく、かつ精力的な仕事ぶりにより、一輪の花と心うつつ詩とそして、うるわしさを秘めた魂とによって、よりよき社会をもたらす人

人生の中に美の輝きを感じ、その賛美の言葉を忘れず、友の美点をつねに見守り、自らの良きところをまた友に贈る、その人生こそ偉大なる感激そのもの

彼こそライオンと呼ぶる人

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する。

(自己研鑽、親睦、国際奉仕、社会奉仕の理念はロータリーと似通ったものですが、職業奉仕に該当する理念はありません。)

ライオンズ・クラブの例会

クラブの例会は月2回開催されますが、例会出席は各会員の基本的義務の一つであって、その例会を興味があり素晴らしい例会に計画することは、クラブ運営にとって大切なことでもあります。それは毎月の例会に会員が集合し、会員相互間の友愛精神を深めるためにも大切なことであって、そのためには計画委員会において、詳細な計画とよく準備された諸

事業が必要であります。

たとえば、全会具による元気な合唱とか、ソングリーダーとか、練達なテール・ツイスターの活動とか、ことに例会における開会・閉会の時間の厳守等、即ち計画委員会は各例会の諸準備の責任者でその努力が必要であります。

例会についての順序は、ライオンズクラブの会則及び附則に示されておりますが、下記の左側は例会の標準プログラムであって、クラブではこの標準プログラムの意に則って、右側の順序で大体開催されていますから、クラブによっては多少違ったところもあります。

プログラム

1. 開 会 ゴ ン グ
2. 国 歌 斉 唱
3. ライオンズクラブの歌斉唱
4. ゲスト及びビジター紹介
5. 会 長 挨 拶
6. 幹 事 報 告
 - ① 報告並びに協議
 - ② 委員長の報告
7. ゲ ス ト の 講 演
8. ま た 合 う 日 ま で
9. ライオンズ・ローア
10. 閉 会 ゴ ン グ
11. 解 散

例会出規定

ライオンズクラブの会員は毎月2回開催されるクラブ例会に出席することは極めて大事なことであるが、例会に出席出来なかった場合、次のようなメイク・アップ規則があります。この規則に則って、行動するこ

とが最も肝要なことであります。

1. 例会の前後それぞれ 13 日間以内に次のいずれかに該当する場合は例会に出席したものとみなされる。
 - a) 他クラブの例会あるいは特別会合
 - b) 所属クラブの理事会の会合
 - c) 所属クラブの常設委員会の正式会合
 - d) 所属クラブ主催の会合. クラブ・アクティビティ資金獲得活動を含む
 - e) リジョンあるいはゾーンの会合
 - f) 国際大会、東洋・東南アジアフォーラム、複合地区・地区大会あるいはその他の正式なライオンズの会合
 - g) 上期期間中における国際本部、外国の地区あるいは複合地区事務局訪問（訪問の証明書が用意されている）
2. 病気のため欠席した会員は医師の診断書を提出することによって、自動的に出席したものとみなされる
3. 軍務、証人として裁判所出席、公務出張、公職選挙法による公職、条例の要請のため欠席した会員は出席したものとみなされる。この場合証明書の提出を求めるかどうかはクラブの理事会が決定する
4. 職務の関係で相当日数にわたる出張（海外出張を含む）のため、例会に出席不可能であり、クラブが正当と判断した場合は出席とみなされる。
5. 近親者（配偶者、2 親等内の血族および 1 親等内の姻族）の喪に服する場合 10 日以内は出席とみなされる。
6. 会員が出席メイク・アップの必要要件を満たしていることを証明する責任はクラブ幹事にある。
7. 妊婦または出産のために会員がやむをえず例会を欠席しなければならない場合、クラブ理事会とその会員が適切であると合意した期間は、出席したものとみなされる。

奉仕活動

ライオンズクラブはさまざまな地域的人道的な事業活動を計画し実行しています。これらの活動はライオニズムに基づく広範な主要活動の事業委員会に分けられ、クラブはこれらの幅広い活動の中から特定の事業活動を選択することが出来ます。その事業委員会は次の通りです。

LCIF (Lions Clubs International Foundation)

ライオンズクラブ国際財団は、国際協会によって 1968 年に設立され、ライオンが人道主義的奉仕と業績を世界に広めるためのユニークな手段です。財団の仕事は諸クラブの奉仕活動を補完するものであり、ライオン相互の協力を必要とする人道主義的奉仕のために、会員・クラブ・地区から財源を拠出願っています。

財団は、「われわれは奉仕する」というライオンズのモットーを全世界に広めるための運動を展開しています。

財団からの交付金は、財団の主要目的である災害救助・職業訓練援助・人道主義的奉仕の趣旨に沿って、ライオンの活動を後援することになります。開発途上国における多数の困窮者の視力回復事業は、財団の交付金によって援助される数多くの活動のひとつです。

財団は貧しい学生たちのために、その国々で職業訓練を実施していますが、さもないとすれば学生たちの将来は寒心に堪えないものとなるでしょう。

財団はまた、災害に襲われた学校・病院・公共施設、地域の再建を援助する長期間の救助活動を行っています。

LCIF 芳名録とメルビン・ジョーンズ・フェローは、顕著な功労のあった生存者をたたえるばかりでなく、故人となった功労者の榮譽をも永遠に記念するものです。すべてのライオンは、財団への善意の拠出を通して、財団の国際的活動の積極的な後援者となる機会をもつことになります。クラブ単位で又個人で LCIF に対し、善意の拠出を切望する。

LCIF は 1991～94 年にかけて視力ファースト・キャンペーンを実施し、1 億 4, 450 万ドルの資金を指定拠金であつめた。現在世界的に視力保護に貢献中である。

視力保護盲人福祉

ライオンズクラブは、緑内障検査診療所、アイバンク、リハビリテーション・センターなどを設立してきました。また、職場を用意したり、援助を必要とする盲人学校に奨学金を支給したりしています。なじみのある「白い杖」はライオンズによって広められたものであり、またクラブは、盲導犬やその他の運動用必需品を供与しています。

聴力言語障害者福祉

難聴学生のいる学校に聴力検査設備を提供し、この種のハンディキャップを負う若人たちには奨学金を支給しています。ライオンはまた、子供や大人の聴力検査を行い、さまざまなリハビリテーション・サービスを実行し、貧しい人びとには補聴器の支給や修理を行っています。

市 民

ライオンズは、愛国心や市民意識を高めるための特別の行事を主催したり、ボーイ・スカウト、ガール・スカウト、ガイドその他数多くの若人たちのグループを後援しています。法の首重、犯罪者のための福祉などの活動も、ライオンズクラブが後援する重要なプログラムです。

教 育

ライオンズは、毎年数多くの奨学金を支給しています。またクラブは、高等学校で就職相談の夕べを催し、地域の知名人を招いて、卒業生たちの進路相談に応じています。恵まれない地域での文盲追放運動や、職業訓練もまた、多くのライオンズクラブの活動計画項目の中で高い地位を占めています。

環境保全

ライオンズは、環境間鹿に対する人々の関心を高める方法を研究しています。自然環境（空気・土壌・騒音・水）または、社会環境（人口計

画、アルコール、薬害等に関する教育および道徳)の両分野において、ライオンズでは他の組織団体や政府機関に協力しながら、より住みやすい健全な環境の設立に努力しているのです。

公衆安全

この広汎な活動の一つに、食糧の生産と保全のための最新の方法について情報を流すことがあります。クラブは、都会でも、田舎でも、その地域社会に関するさまざまな活動計画、特に、交通、家庭、農場、学校、レクリエーションの安全に重点をおいた活動計画を実行しています。

レクリエーション

ライオンズは、運動場を作ったり、レクリエーション用具を寄付したりしています。また、地域集会場、水泳プール、庭園や町の広場なども作っています。ライオンズは、フットボール、バスケットボール、ホッケー、サッカーその他の若人たちのスポーツ・チームを後援しています。クラブは、カーニバル、ピクニックその他さまざまな祝いごとを計画し、実行しています。

保 健

ライオンズは、発展途上国の地域に広範囲な医療援助を提供し、また、幅広く検診と予防活動計画を組織化しています。各種の医療研究機関もまた、クラブや地区から多くの寄付を仰いできました。ライオンズはまた、薬品教育活動計画を実行して、薬の乱用を抑制することに積極的に取り組んでいます。

国際関係

ライオンズは、数多くの国際的交友関係をきずきあげてきましたし、また、世界的な援助活動計画に参加しています。ライオンズは、ライオンズ国際財団と国際連合の人道的目的を支持し、ケアと密接な協同関係にあります。ますます多くの若人たちが、毎年、青少年交換活動計画に参加しつつあります。

社会奉仕

ライオンズは、心身障害者、老人、恵まれない人びとのための数多くの活動計画を支援しています。クラブや地区はまた、孤児院、老人ホーム、心身障害者のためのリハビリテーション・センターなどを建設してきました。多くのクラブが、定期的に恵まれない人びとに食糧を供与しています。地域社会が必要とするところ、そこには、いつもライオンズの奉仕活動があります。

レオクラブ・プログラム

レオクラブ計画の発足以来、レオクラブは数多くの重要な活動を行ってきましたが、それは不幸な人びとを助け、地域社会の改善に寄与することを主たる狙いとするものでした。レオクラブは、青年たちにリーダーシップ、経験、機会の重要性を強調しつつ、積極的な関心と参加意欲をもつ市民に成長するチャンスを提供しています。

ライオネスクラブ・プログラム

ライオネス計画は、全世界の婦人にライオンズクラブを通して困窮者に奉仕する機会を提供しています。ライオンズクラブ会員の夫人や、地域社会に関心のある婦人たちは、ライオンズクラブと同様に多彩な奉仕活動を行っています。

青少年交換プログラム

ライオンズクラブは、青少年交換活動に参画して、国際的相互理解と善意に大いに貢献しています。スポンサークラブによって適格者として選ばれた青少年たちは、ホストクラブのゲストとして外国を訪問します。そして典型的な地域社会生活を観察し、外国の文化と人びとについての知識を深めます。派遣期間は4～6週間が普通です。

国際ユースキャンプ

ライオニズムによる最初の青少年キャンプは、1963年にスウェーデンの101複合地区のライオンたちによって実施されました。その時以来、数多くの青年たちが国際的なキャンプ生活の体験を共にする機会をもつことができました。

青少年指導

次代を担う青少年を健全に育成指導することは、ライオンズクラブの大きな奉仕活動の一つです。日本に於ては増大しつつある青少年の非行化、薬物の乱用、いじめ問題、登校拒否などにどのように対応するかという事が今後検討されるべきでしょう。社会問題になっているともいわれる登校拒否児の教育は、公的機関だけでは解決できる問題ではなく、民間ボランティアによるシューレク再教育・寺子屋式学校) の設立、運営が必要となるでしょう。豊富な人材を要するライオンズクラブやレオクラブも色々な面で支援することができます。

糖尿病教育

ライオンズは、糖尿病の危険に対する人々の認識を深めるため、教育と早期発見に特に力を注いでいます。その方法として、講演会やセミナーを行い、それに伴って検参事業も行っています。糖尿病に関する資料を作成し、糖尿病教育の事業実施の際に一般の人々に配布するクラブも多くあります。世界のライオンズは、リサーチも全面的に支援しています。尚、1996年よりアイヘルス委員会が設置され活動を開始した。

2000年11月13日

ロータリーと J C

日本のロータリアンの平均年齢が極めて高い理由の一つとして、青年会議所(JC)を卒業した後にロータリークラブに入会するという習慣が定着していることがあげられます。日本以外の国、特にアメリカでは JC をライオンズの予備軍と考える人が多く、JC に入会する前に、ロータリーに入れる運動が公に行われているのを見て、びっくりすると同時に、なるほどと感じました。

ロータリーを人間形成の場だと考えれば、人生の道場(米山梅吉翁のことば)の門を叩くのは、早ければ早いほどいいわけですし、若い年齢で入会することによって、クラブの活性化を高めると同時に、若い会長、若いガバナー、若い RI 理事を作り出すことが可能になります。RI の理事会が 50 代のロータリアンで占められているのに、日本では 50 代のガバナーすらほとんどいないのが現状です。

RI に対するさまざまな不満を耳にします。しかし、外野でいくら愚痴を言っても何の効果もありません。そのためには若くて行動力のある人を RI の中枢に送り込むのが一番効果的ではないでしょうか。

ロータリーの活性化を高めるために、特に若い人の会員増強が絶対不可欠だと思います。しかし、それに取り組もうとすれば、好むと好まざるに関わらず、JC および JC 出身の会員との軋轢を生じる可能性を否定することはできません。

JC とはどんな組織かを知る一助として、綱領と宣言をご紹介します。

THE CREED OF JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL

J C クリード

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That the economic justice can best be won by free men through free
enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life.

J C 綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇氣と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

'70年 J C 宣言

理想と法による社会の秩序を確立し
個人の創意と公正な競争を通じて
経済の発展を実現し
隣人の幸せを願う者が正しく報われる
民主主義社会の達成を誓い
民族の気概を結集して
日本の平和と独立を守り
人間性への信頼こそすべての国を結ぶ
きずなであることを確信する

J C 宣言

変革の能動者たらんとする青年として、
個人の、真に豊かな生活の実現を通して、

自立した、快適で活力ある地域を創造し、
自由と公正を保障する国家を基盤として、
世界の平和と繁栄に貢献し、
地球上のすべての人と、共に生きることを誓う。

2000年11月20日

レジナルド・ハリス

ポール・ハリスの末弟レジナルド・ハリス **Reginald Harris** は1886年の生まれですから18歳年下の弟ということになります。

ライオンズの文献によると、1905年2月23日に開かれたロータリー最初の会合には、19歳のレッグが参加していたという記載がありますが、真偽のほどは明らかではありません。レッグは第一次世界大戦に従軍後、ワイオミング大学を卒業し、1926年から29年まで同大学で経営学の教鞭をとり、同時期にララミー・ロータリークラブの会員となって、副会長を務めます。

さらに、1929年から国際ロータリーの事務局に勤めますが、1933年に突然ロータリーを去って、ライオンズに入り、第4地区幹事としてカリフォルニア、ネバダ地区のライオンズ組織拡大に大きく貢献します。

ポール・ハリスが亡くなる5日前の、1947年1月22日午後4時30分の消印のある、ポール・ハリスがレッグ・ハリスにだした手紙が残っています。その宛名は、サンタバーバラの国際ライオンズ事務局気付けとなっています。

レッグは1954年にライオンズを去り、1958年72歳でこの世を去りました。

次のライオンズの文献は、レッグがライオンズを退会するに当たって、ライオンズ第4地区ガバナーから寄せられた感謝文だと思われます。なお、この文献は、江北クラブの飯塚悟朗氏から寄せられたものを、私が翻訳したものです。

有名なサレムの魔女狩りが盛んであった頃、レッグ・ハリスはあいにく、そこには居合わせてはいませんが、彼の祖先がそこにいた可能性は充分考えられます。レッグは生粋のニューイングランドの血を引いているのです。彼の先祖が魔女狩りをした方かされた方かは別にして、

国際ライオンズ第4地区が、幹事として、この敬慕すべき紳士を擁していたことは、紛れもない事実です。

レッグの先祖もまた、ニューイングランドとカリフォルニアの二足の草鞋を履いた今日の彼という偉大なる人物を産み出すために、カリフォルニアの地に入植したのです。

伝えられるところによると、レッグの祖父は1849年早々に、カリフォルニアのレッドウッドの事業に投資しました。不運だったのは、当時家族が持っていた全ての資金をその投資に注ぎ込んだことでした。しかし、投資家である不運な祖父の兄弟は、カリフォルニアの初代法務長官という政治的な名声を築くことになります。

我々の愛すべき地区幹事が、アメリカの他の場所ではなく、個人的にこの場所を選び、このカリフォルニアに居を定めたのは、1936年になってからのことです。もちろん、レッグは、国際ライオンズによってこの地に送られたのですが、当時、彼は、不況のために危機的状況にあるクラブを強化したり、消滅したクラブから連合会の会費を取立てたりする仕事を手伝っていました。

瀕死のクラブを看取るという経験を通じて、レッグは、もしも彼がそうすることが出来る立場にいるのなら、ライオンズ精神を適切に備えた上で設立するように提案したのにと、財産を管理下において解決を図ることに強い反発心をつのらせていきました。

レッグは、第4地区の幹事として、今日に至るまで、びた一文の報酬も取らずに、銀行の口座を充管理しながら余剰金を積み立てることを始めて、ガバナーに大きな影響力を与えました。今は、代々の理事会の協力のもとに、レッグがこの資金を慎重に管理すると共に、それを増やしていったので、私の知る限りでは「彼」の地区が健全な状況にあるということは、彼にとって幸せなことです。

第4地区における財政的な支払能力と信用を回復するという願望を達成することは、批判され、嘲笑され続けたレッグにとっては容易なこと

ではありませんでしたし、このことは、レッグやずっと彼と意見が一致しなかった人たち双方にとって、忘れることのできないことでした

第4地区において彼が17年間にわたって奉仕をしている間に、レッグは、比較的小規模だったライオンズの地域から、約600のクラブと30,000人の会員を擁する、国際ライオンズの中でも指導的立場にある地区の一つに成長させたのです。

最初のうちレッグは、クラブの組織を作ったり、クラブの仕事を手伝ったりしていましたが、地区が後援している数多くの慈善活動をやり遂げるのを手伝えるために、地区事務局の仕事が、非常に重要になってきたので、常勤の幹事するように要求しました。

我々の忠実な幹事は、「摩擦は行動を起こしたからではなく、それを途中で止めることにある」と熱っぽく語り掛けています。他の地区と同じように、第4地区の中にある11の分区のそれぞれが、調和と友好を保っているのは、レッグに対する真の信頼が本物であった証拠です。

第4地区が強固で力強く結び合っているのは、レッグ・ハリスのためめ努力によるところが大です。

レッグの履歴を振り返ってみると、彼は第1次世界大戦に際して軍人であったことが分かっています。郵便局長、商人、ワイオミング大学の経済学と政治学の教授であり、学士号および修士号を持っています。

最も愛すべきライオンズ精神を持った幹事は、たまたま入った奉仕クラブの活動に対しては、活動的にはなれませんでした。レッグの兄ポールは、1905年にシカゴでロータリーを創立した人であり、当時19歳の若者であったレッグは、ロータリーが誕生した事務所に居合わせた五人のうちの1人でした。

1927年から1932年までの間、レッグはロータリーの中で働きましたが、「勝ち馬に賭けること」を欲した彼は、ライオンズに移籍し、それ以来、私達と共にあるのです。

カリフォルニアとネバダにおけるライオンズが、ひととき目立つ存在

になった功績の多くは、レグ・ハリスのなせる業です。これらの二つの州における、600 以上にものぼる地域社会で、ライオンズが実践している偉大な慈善活動の功績の多くは、彼のなせる業です。彼らの故郷をより住み易い場所にしようという一つの目的に結集させて、これらの二つの州の人たちを、一つの大勢の仲間のグループに融和させた功績は、レグのなせる業です。

もしも誰かが彼になり代って、椅子に座り、彼の目と心を通じて、彼が過ごしてきた過去を振り返って見るために、彼の生涯の光景と活動をスクリーンに映し出したとしたら、レグの目を通じて、世界のライオンズが、おむつをしたよちよち歩きの子供から、誰にも負けない勢力を持ち有用で活動的な大人に成長したライオンズ精神を、目のあたりにすることができるに違いありません。

第 4C-1 地区ガバナー、スタンレー・ウエークフィールドおよび全役員、国際ライオンズ・カウンセラー、2,900 名のライオンズ会員は、謹んで、レグ・ハリスに感謝の意を表明いたします。

2000 年 11 月 27 日

五年間の愚行

ポール・ハリスは1891年6月、アイオワ州立大学のロー・スクールを卒業と同時に弁護士試験にも合格しました。卒業生仲間はそれぞれの地方に散り、弁護士事務所を開設する準備を始めていましたが、たまたま卒業式で先輩が述べた「法学部の卒業生は小さな町に行って五年くらいは愚行を重ね、その後、開業するために自分が選んだ町に行く方がいい。」という言葉が自己流に解釈して、「五年間位は、一箇所に定住しないで各地を廻り、あらゆることを経験する」ことを決心しました。波乱万丈な生活は学生時代だけに留まらず、1891年の夏より、アメリカ全土とヨーロッパを放浪する冒険の旅「五年間の愚行」が始まりました。

アイダホの荒野を西に進み、イエローストーンを経て、まずサンフランシスコでクロニクル紙のリポーターを勤めたのを振り出しに、バーカー溪谷では果樹園の労務者、フレズノでは干し葡萄の包装工場で働いて、その日の糧を得ながらロスアンゼルスまでたどり着きました。ロスアンゼルスではLAビジネス・カレッジの講師をしていましたが、1892年4月には列車に揺られながらロッキー山脈を越えて、デンバーに向かいます。ここでは、ロッキー・マウンテン・ニュース紙の新聞記者として働く一方で、オールド・フィフティーン・ストリート劇場で舞台俳優を勤めました。ショーマンとしての本能を持っていた彼の人気はなかなかのものでしたが、旅回りの一座は、あまりにも侘びしい生き方だったので、今度はプラットビルに行って、アメリカの若者のもっとも憧れる職業であるカウボーイを志願しました。しかし、現実はそんなに甘いものではありませんでした。

東へ向かったポールは、フロリダ州ジャクソンビルにある、セント・ジェームズ・ホテルの夜間事務員になりましたが、そこで知り合ったジョージ・クラークにスカウトされて、クラーク大理石会社に勤めること

になり、セールスマンとして南部各州を旅するという、放浪生活を送るには、またとない機会に巡り合います。

クリーブランド大統領の2度目の就任式を見学するためにクラークの会社をやめたポールは、1893年3月、ワシントンにやってきました。この期間中ワシントン・スター紙の記者を勤めましたが、その後、別の大理石販売会社のセールスマンとして、ケンタッキー、テネシー、ジョージア、バージニアを回りました。

イギリスに行くことを夢見たポールは、フィラデルフィアから牛運搬船ボルチモア号に乗り組みましたが、嵐の中の14日間に及ぶ下級水夫としての船旅は困難と苦痛の連続でした。その上、極めて短期間、リバプールに滞在しただけで、パークモア号に乗って帰路につかなければなりませんでした。

せっかくイギリスに行きながら、ロンドンを訪れることができなかったポールは、エリオットの農場の雑役やコーンの缶詰工場で働きながら、次の船便を待っていましたが、ちょうど、ボルチモアに着岸していたミシガン号の船員監督に採用されという幸運を掴むことができました。

待望のロンドンに着いたポールは、ウエストミンスター寺院や国会議事堂やロンドン塔を訪れ、古い通りと建物に響きわたるボン、ボンというビッグベンの音に自分の時計を合わせたり、船員仲間と共にテムズ川を船で下ったり、ピカデリー・サーカスやトラファルガー広場を訪れたりして、ディッケンスの描いたロンドンを肌で感じることができました。

帰りの航海で寄港したウエールズのスウォンシーでは、たまたま起こったストライキの影響で出港が三日も遅れたため、この古い町を心行くまで探索するという幸運に巡り合いました。

1893年9月、万国博覧会を見物するためにシカゴを訪れ、その後、借金を返すために広告に応じてニューオリンズに行き、オレンジ畑の作業員の仕事に就いていましたが、同年10月1日に、最大級のハリケ

ーンの襲来に見舞われ、溺れかかっていた少女を助けながら脱出したという記録が残っています。

1993年10月、クラーク大理石会社に復帰したポールは、セールスマンとして南部各州を回った後、買い付け代理人としてヨーロッパ各国を回るほど、その経営手腕を発揮しました。彼はこの機会を利用して英国を始め、大陸の殆どを見聞する機会に恵まれました。帰国したポールは、新しく住宅部門を開発して、クラークの片腕として活躍しましたが、当初の計画であった五年間が間近に迫ってきました。クラークはあらゆる有利な条件を出して彼を引きとめようとしたが、ポールの決心は変わりませんでした。

「私は弁護士です。私は金を稼ぐためにシカゴに行くのではありません。私の人生を切り開く目的で、そこに行くのです。」

クラークは、ニューヨークに行ったことがないポールのために、ニューヨーク支店長の肩書きを与えて、長年にわたるポールへの餞別としました。

2000年12月14日

炉辺談話の発祥

Fireside meeting 炉辺談話の表現が、**Informal meeting** 家庭集會に変わったことから、その会合の持ち方や内容も変える必要があるのではないかという疑問を持っている方もあると思いますが、この会合は例会のように定款で規定されている会合ではありませんから、自由に開くことができます。

會員宅を持回りして、小人数で開く非公式な懇話会であり、話題は特にロータリーに限定する必要はありませんし、むしろ親睦を深めるための会合と考えた方がいいでしょう。話題がロータリーに関連しても結構ですし、その場合はアット・ホームな雰囲気から、公式な会合ではなかなか言い出せない初歩的な質問なども、気易くきりだせますし、ロータリー理論の研究会など、とかく堅苦しくなり勝ちな会合を炉辺談話の形式ですると、非常に効果的です。ただし他の會員の批判やクラブ管理上の不満を話題にすることや、参加會員が固定化して党中党を作ることのないように留意する必要があります。

會員宅を廻り持ちすることも、必ずしもそれにとらわれる必要はありませんし、お茶とお菓子でもいいですし、少々ならアルコールが入ることで、かえって本音がでて効果的な場合もあるでしょう。

1935年に、新入會員にロータリー情報を提供するために始められたものですが、その後シカゴ・クラブがこれを取り入れて、大きな成果を修めたことから、世界的に広まっていきました。

Oren Arnold 著の「ゴールデン・ストランド(田中 毅訳)」に、**Fireside meeting** が開かれた経緯について詳しく解説されていますので、以下これを引用してみます。

ロータリーの魅力と呼ばれるものの多くは、正規外な活動、発足時の

目的や理想を越えたもの、クラブのリクリエーションに分類する必要がある。さらに、これらの多くのものは、スポーツではない場合も含めて、途方もなく楽しいものである。

ハーブ・アングスターは、ロータリーの最も魅力的な活動の一つについて、それがどのようにして始まったかを、再び話し始めた。

「もちろん、私は、その夜のことを覚えています。それは 1937 年のことで、アグネスと私は、シカゴ近郊の、ハイランド・パークの新居に引っ越したばかりでした。私たちは近所の人を誰も知りませんでしたが、この町にはロータリークラブがあって、私はその例会に一・二度に出席しことがありました。そこで私は、あることを考えついて、私のシカゴ・ロータリークラブの事務局に電話をして、ハイランド・パークに住んでいるすべての会員のリストを知らせてくれるように、幹事に頼みました。その結果、少なくとも 12 名が住んでいることが判りました。

そこで、アグネスと私は日付を決めて、それらの会員たちをロータリーの集会として我が家に招待しました。ハイランド・パーク・クラブからも四人の新しい友人を誘いましたが、ほとんど全員がこれに応じてくれました。我々は、新しい大きな暖炉の燃え盛る炎の前に、余分の椅子を運び込まなければなりませんでしたが、幸せな夕べでした。

私は、しばらくの間、ニュースで開かれた最近のロータリー国際大会について話し合ったことを覚えています。私たちがフランス人の会長を持つことなど、誰が想像したのでしょうか？ しかし、私たちはモーリス・ジュペレーを会長にして、ロータリーの輪の中心を、旧世界に移したのです。

そうです。それは皆にとって極めてなごやかな楽しみだったので、シカゴ・クラブから来た私のゲストが、すぐに彼らの家庭で、ロータリアンの会合を開き始めたのです。初めのうちは、私たちはそれをファイアサイド・ミーティングと呼んでいました。それはいまでも、ロータリーのすばらしい一要素となっています。」

その考え方と名称が人気を博して、非常に迅速に広がっていった。ハーブ・アングスターの話は厳密に言えば、オリジナルなものではなかった。2年前に、メキシコシティにおける国際大会で、一人の講演者が述べている。

「多くの小さなクラブが、正式に準備した場合よりもより深い知識が得られるファイアサイド・ミーティングという媒体を通じて、新しい会員にロータリーをよく説明している。」

しかし、それは更に、ロータリーの議事 **business sessions** や委員会の会合 **committee meetings** にも効果的だった。アングスターのファイアサイド・ミーティングは、もっと社交的な雰囲気だった。あらゆるロータリーに関する話は、非公式な付け足しに過ぎず、親睦が第一であった。

これらの集会の高い人気は、シカゴ・ロータリークラブを喜ばした。どんな会員が自分の家に招待しても、何人でも集まることができたし、ある時は夫人同伴であり、ある時はそうでなかった。男のファッションや、先験哲学からピーナッツの栽培に至るまで、すべての事柄が話題に上った。

ある夜、商人が尋ねた。

「なぜ、このような非公式のファイアサイド・ミーティングのことを、“お喋りをする(脂身の肉をかじる) **chewing the fat**”と言うのですか？」

文学部の教授が微笑みながら答えた。

「エリザベス1世の時代である、イギリスのシェイクスピア時代に遡れば、人々が訪問したとき暖炉の前に集まる慣習がありました。当時、各々の家庭ではたいがい、長い期間保存するためにベーコンの切れ端を暖炉の上の棚にぶら下げていたのです。人の話によれば、彼らは剣かナイフを取り出して、届く範囲の塩辛くて脂肪の多い干物の塊を切り取ってから、床に座りなおして、文字どおり、それを嚙じりました。それは、ち

ようど我々が、ブリッツェル **pretzels** やポテトチップスに手を伸ばすのと同じことです。だから、「脂身の肉をかじる」ことは、思いついたことを何でも議論することと同じ意味になったのです。」

ポール・ハリスはロータリーのこの現象を想像だにしなければならなかっただろうが、きっと、関係するすべてのことが楽しかったに違いない。1964年には、25,000回にも及ぶファイアサイド・ミーティングが、世界中のロータリーの家庭で開催され、シカゴだけでも数十回に及んだ。シカゴ・ロータリークラブが、クラブの責任下に置くことによって、このなごやかな現象を承認した 1930 年代の終りに遡ってみたい。郊外に住んでいる人たちが大量にやって来ることから作られた大都市圏委員会から、正式にまた公式に、ファイアサイド・ミーティングを要望されたことはなかったが、いくらかの努力がなされたことが記録に残っている。典型的なものは、1960 年の秋に、西郊外地域で 2 晩連続して行われた、四つの特別な会合が報告されている。一つは、めいめいが、自分自身のことをについて話すために、2 分間を与えられる社交的なものであった。この会議は、また、クラブの新しい会員を同化するのに役立った。

最近になって、会合のほとんどが即席か、ぎりぎり直前に用意されるようになった。彼らが楽しんで有益な機会であることは、例外なく皆が認めるところである。年ごとに、ファイアサイド・ミーティングの規模が大きくなっていくように思われる。

ハーブ・アングスターが 50 歳の若さの頃に戻ってみよう。彼はゲストたちに、多分、最近の不景気のことや、ドイツの問題で沸き立っている政治の舞台や、我々の居間にあるテレビのような意外と新しい可能性や、前世紀に湖岸で行われた発展博覧会には、ショー・ケースを陳列したのかどうかといったような話題を提供していたに違いない。それが 1965 年には、テレビカメラを月に向けて発射するとか、タバコの箱に癌の警告を義務づけるとか、女性のトップレスの水着とか、西海岸から東海岸まで 30 分で飛行するとか、話題はとんでもない内容にそれていっ

たに違いない。話題は変わっても、それを議論することはいつも楽しいことである。

このファイアサイド・ミーティングは、ロータリアンが集まる場所では何処でも、ゴルフ・コースでも、ボーリング場でも、ヨット・クラブでも、いわんや火曜日の昼食のテーブルでも、人々はしばしば「……の時のことを憶えているかい……」と口を滑らせることを、避けて通れない運命にあった。回想は、いつも男たちの会話の生き生きとした幸福な一部であった。年輩の者だけが、去りし日々を忍ぶのではなく、すべての年齢の人々は、過去を回想し、そのことを話すのが好きなのである。子供でさえも。

「私は、チャーリー・コミスキーが我々のクラブに入ってきた時のことを覚えているよ。彼は有名人だった。」

1965年12月に暖炉の前で、一人のシカゴの男が言った。

「もう、その話は止めてくれよ！」

ロータリアンの同僚が、話をさえぎった。

「またそんなことを言って……チャーリーは1913年に入会したんだよ。私は、たまたま、9歳だった当時の君のことを知っているんだよ。」

最初に口火を切った男はやりと笑った。

「そうとも。私が言いたいことは、あらゆる年代の人が、チャーリーに関して聞いたことを覚えているということだよ。だけど、私が9歳だった頃でさえ、彼は、私のヒーローだった。お分かりかな？ 彼が入っているクラブと同じクラブに入るほど、私が成長するなどとは決して思わなかったよ！ 私は、アブラハム・リンカーンの伝記よりも、ずっとよく彼の生き様を知っているんだよ。」

「彼は1876年に、17歳の年で、ミルウォーキー・チームで野球を始めた。後に、セントルイス・ブラウンズのマネジャーとして、1885年から1888年まで、4回連続してチームに優勝をもたらした。そして、1900年に、彼はシカゴ・ホワイトソックスのオーナーになったんだ。」

「彼が会員になってロータリーに出席して、始めて卓話をした日に、野球の裏話をして、陽気な馬鹿騒ぎをする機会に変えてしまったんだよ。そこで、2週間の間彼に注目していると、次の週の昼食例会で、大きな事業としての野球について話をしたんだ。その日の結論として、クラブは次の土曜日をコミスキーの日とすることを満場一致で決めて、会員のほとんど全員が、セントルイス・ホワイトソックスの試合を見るために、車を借り切って、家族と共に参加した。君たち、これが、ロータリーへの入門なんだよ！」

野球の話が加わって、更にすばらしい1時間だった。その後で、夫人がコーヒーと4層の厚いケーキをサービスし、男たちは、チョコレートとピーカンに舌鼓を打った。ロータリーの魅力とは、そのような機会を通じて、大きな高まりを受けとめることである。

ロータリーを回想すれば、半ダースにも及ぶ著書に、収まり切れるものではないだろう。しかし我々は、少なくともここに確実に記録され、しばしば語られた幾つかの事柄について、既にみんなが満喫したように楽みたいものである。金色の歯車のケースを手にして出かけることをお勧めしたい。特に、かなりの年輩の人ならば、この象徴的なファイアサイド・ミーティングによって満ち足りた気持ちになることは必定である。「ゴールデン・ストランドから抜粋」

2000年12月20日

